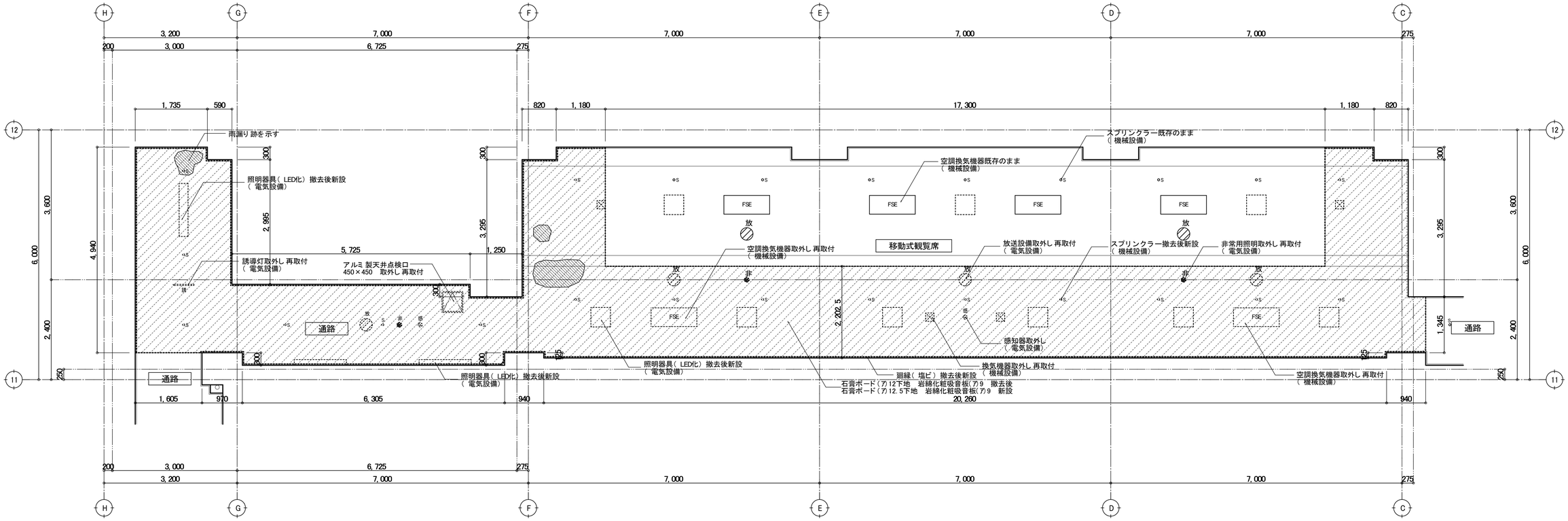


凡　例

- •非 非常用照明
- ⊘放 スピーカー
- •感 感知器
- ▎誘 誘導灯
- ○犯 防犯
- ·S スプリンクラー
- FCV ファンコンベクター
- FSE 空調換気扇
- ACP ヒートポンプユニット

特　記　事　項

改修箇所を示す

改修部分の範囲（ 寸法）については、設計図では参考程度とし、現場では建材の割付等考慮して範囲を決定すること

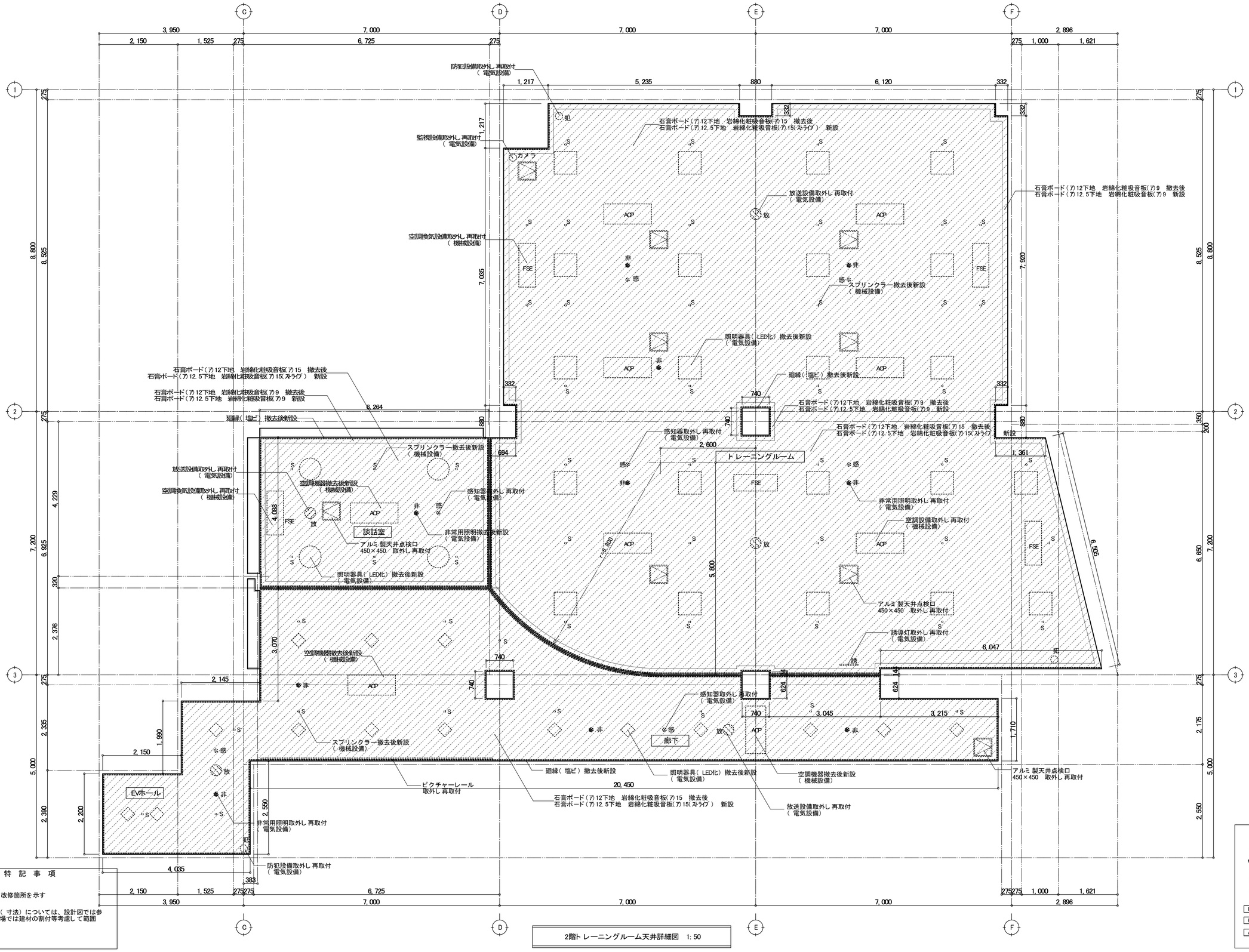
2階移動式観覧席天井詳細図　1: 50

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808） 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL. 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A —— 76
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 2階天井詳細図(2)	縮尺 A1 1: 50 A3 1: 100



2階トレーニングルーム天井詳細図 1:50

凡 例

- 非 非常用照明
- 放 スピーカー
- 感 感知器
- 誘 誘導灯
- 犯 防犯
- ・S スプリンクラー
- FCV ファンコンベクター
- FSE 空調換気扇
- ACP ヒートポンプユニット

特 記 事 項

改修箇所を示す

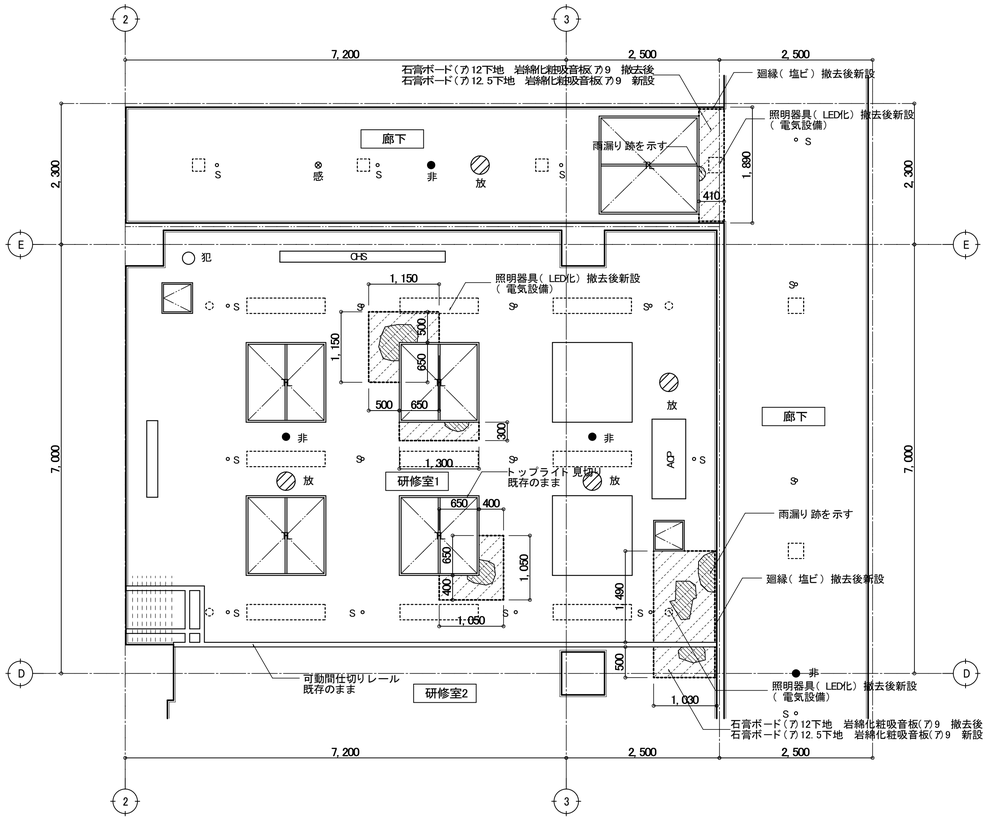
改修部分の範囲（ 寸法）については、設計図では参考程度とし、現場では建材の割付等考慮して範囲を決定すること

訂正	月	日

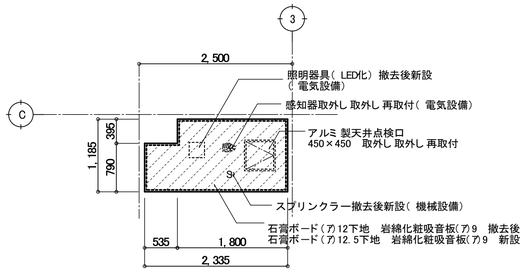
SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

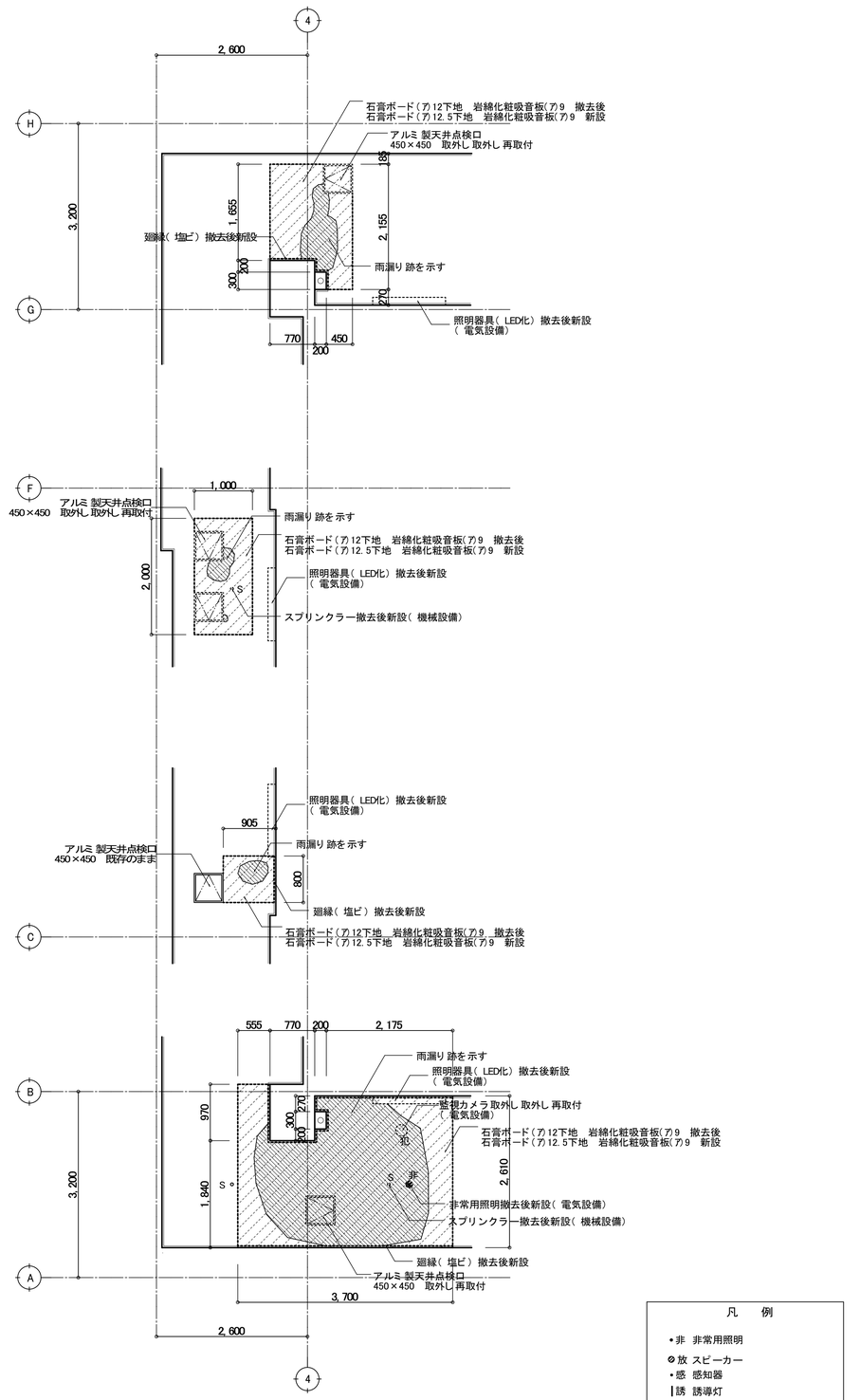
設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A —— 77
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 2階天井詳細図（3）	縮尺 A1 1: 50 A3 1: 100



3階研修室1、2・ 廊下天井詳細図 1: 50



3階湯沸室天井詳細図 1: 50



3階キャット ウォーク天井詳細図 1: 50

凡 例

- •非 非常用照明
- ⊘放 スピーカー
- •感 感知器
- ▎誘 誘導灯
- ○犯 防犯
- ・S スプリンクラー
- FCV ファンコンベクター
- FSE 空調換気扇
- ACP ヒート ポンプユニット

特 記 事 項

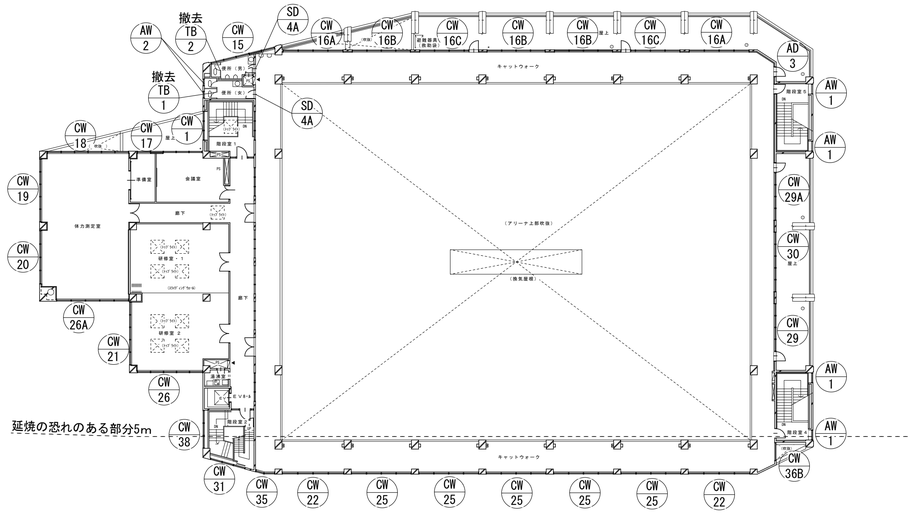
改修箇所を示す

改修部分の範囲（ 寸法）については、設計図では参考程度とし、現場では建材の割付等考慮して範囲を決定すること

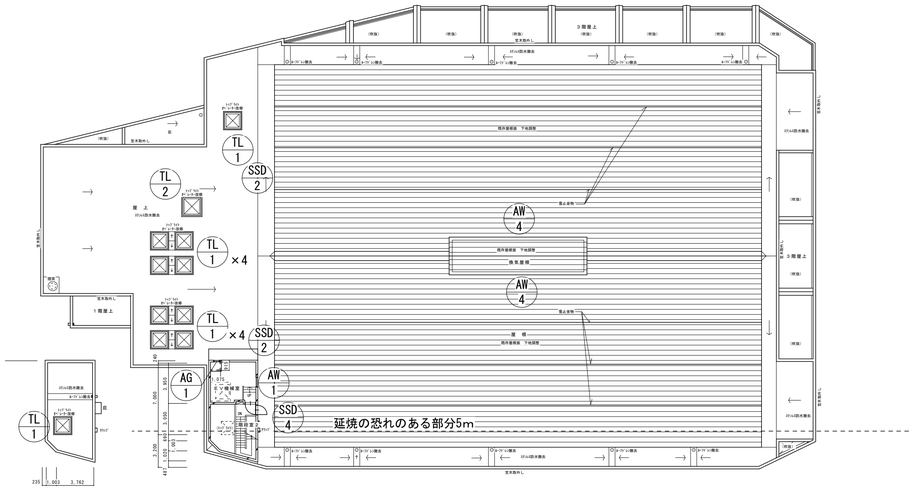
訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お（ 2808） 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL. 019-661-8222 FAX 019-661-8221

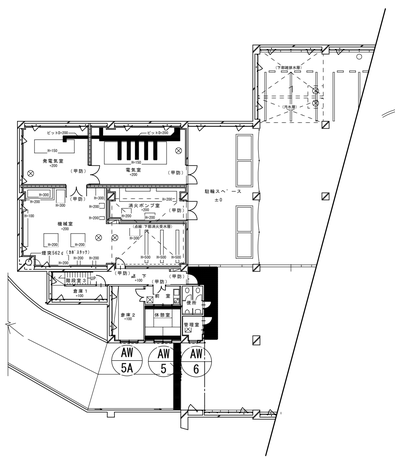
設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A —— 78
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋 雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 3階天井詳細図	縮尺 A1 1: 50 A3 1: 100



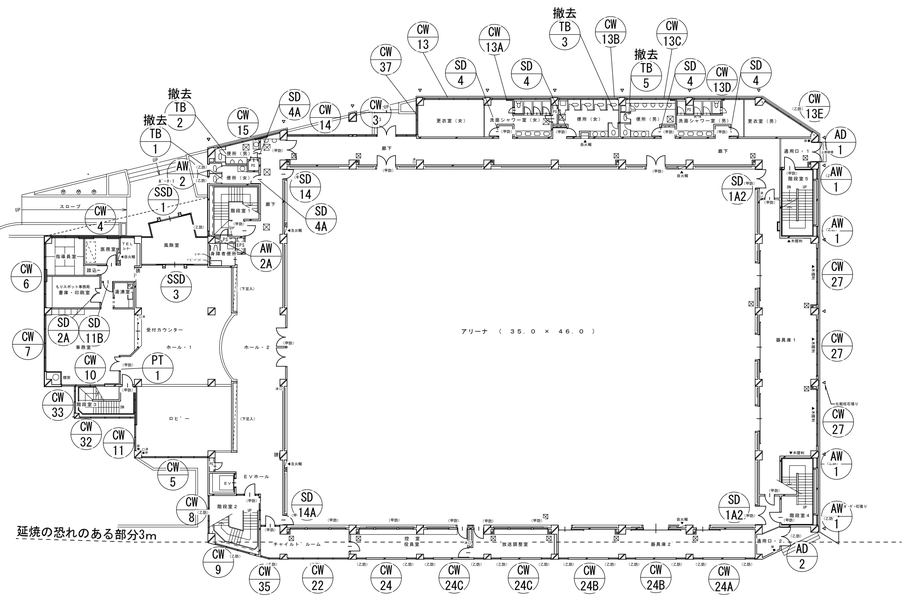
既存3階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300



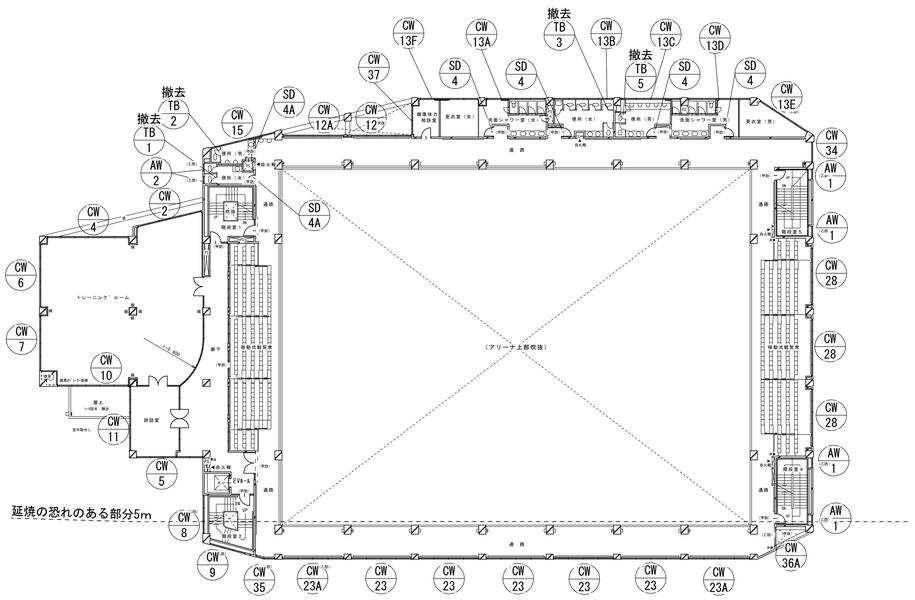
既存R階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300



既存B1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300



既存1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300

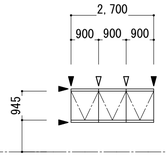
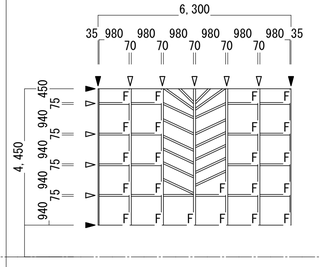
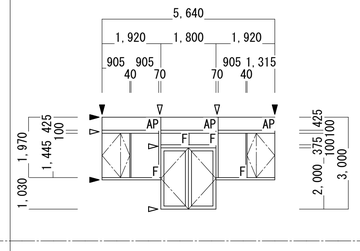
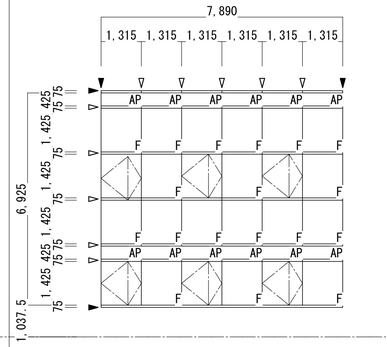
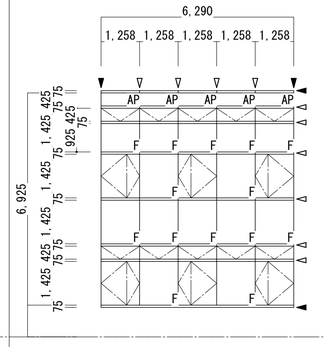
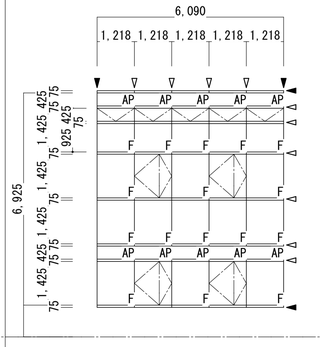


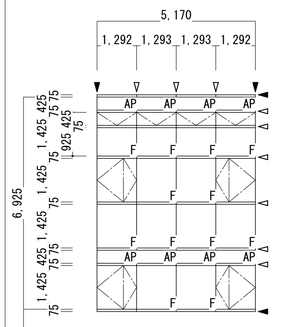
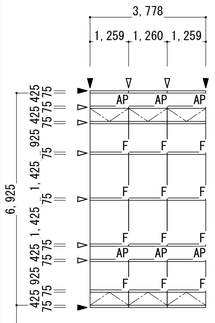
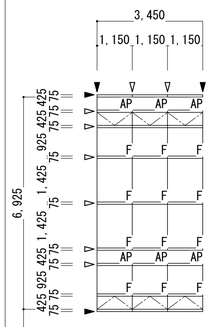
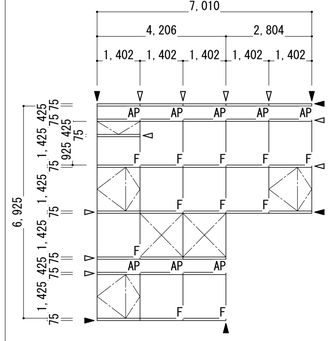
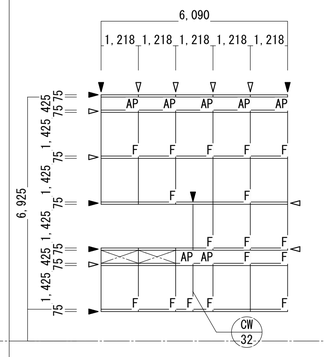
既存2階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300

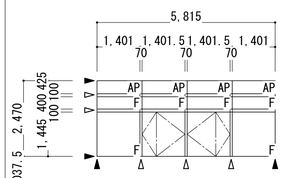
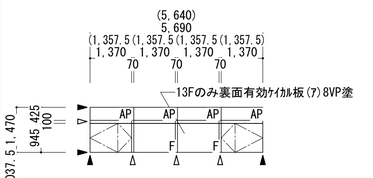
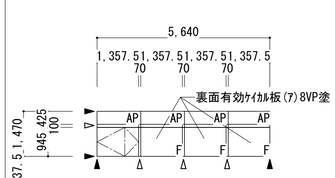
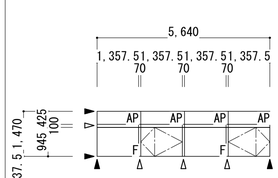
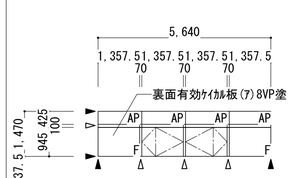
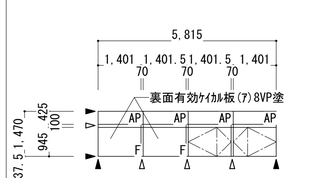
訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A —— 79
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 既存 建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	縮尺 A1： 1/300 A3： 1/600

記号・型式	数量	CW 1 アルミAT100　外倒し窓	1	CW 2 アルミカーテンウォール（ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ）	1	CW 3 アルミAT100　段連窓	1	CW 4 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 5 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 6 アルミカーテンウォール(枠付)	1
取付場所		階段室1		トレーニングルーム		廊下		トレーニングルーム、指導員室、医務室		ロビー、談話室、廊下		指導員室、印刷室、トレーニングルーム	
改修工事内容		外部シーリング改修、オペレーター改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修	
形状・種類・寸法		ｼｰﾘﾝｸﾞ打替位置を示す　MS-2　15×15　2本 （※特記なき場合は外周部を示す ※柱の目地と被る場合は縦目地ｼｰﾘﾝｸﾞの仕様に合わせる） ｼｰﾘﾝｸﾞ打替位置を示す　MS-2　15×15　1本 AP　ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙを示す F　FIX窓を示す （以下共通） 											
金物		オペレーター		オペレーター		ハンドル、丁番、本締錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、ﾌﾗｯｼｭ落し、押棒、SUS水切		ハンドル		ハンドル、オペレーター		ハンドル、オペレーター	
ガラス	見込 / 塗装	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+PW6.8	100 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5	60 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	60 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	80 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	80 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	80 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防	

記号・型式	数量	CW 7 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 8 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 9 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 10 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 11 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 12 アルミAT100　段連窓	1
取付場所		事務室、トレーニングルーム		階段室2		階段室2		事務室、トレーニングルーム		ロビー、談話室		通路	
改修工事内容		外部シーリング改修		外部シーリング改修、オペレーター改修（上部ﾜｲﾔｰ交換）		外部シーリング改修		外部シーリング改修、オペレーター改修（上部ﾜｲﾔｰ交換）		外部シーリング改修		外部シーリング改修	
形状・種類・寸法													
金物		ハンドル、オペレーター		オペレーター		オペレーター		オペレーター		ハンドル、オペレーター		ハンドル	
ガラス	見込 / 塗装	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	80 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+PW6.8 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	80 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+PW6.8 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	80 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	80 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	80 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	100 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防	

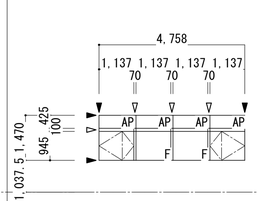
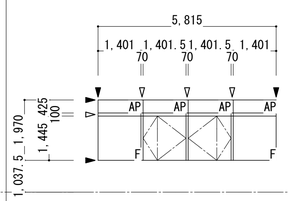
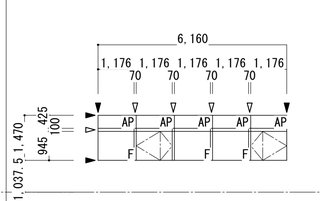
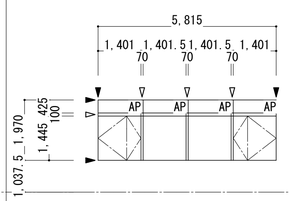
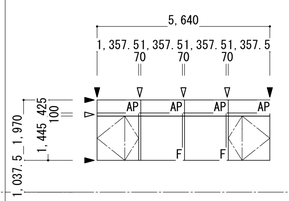
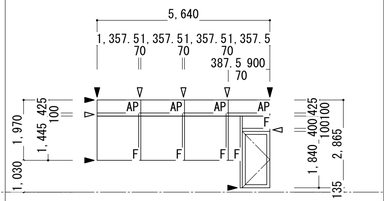
記号・型式	数量	CW 12A アルミAT100　段連窓	1	CW 13F CW 13 アルミAT100　段連窓	各1	CW 13A アルミAT100　段連窓	2	CW 13B アルミAT100　段連窓	2	CW 13C アルミAT100　段連窓	2	CW 13D アルミAT100　段連窓	2
取付場所		通路		更衣室(女)		洗面シャワー室(女)		便所(女)		便所(男)		洗面ｼｬﾜｰ室(男)	
改修工事内容		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修	
形状・種類・寸法				 ※（ ）寸法はCW-13									
金物		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル	
ガラス	見込 / 塗装	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+FL5 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	100 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+F6 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	100 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+F6 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	100 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+F6 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	100 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+F6 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	100 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ｱ)6+6A+F6 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt＝2.0	100 / ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防	

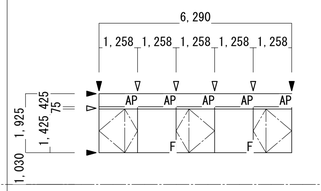
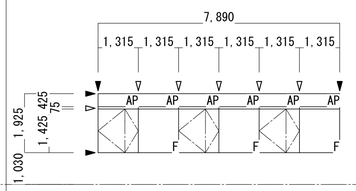
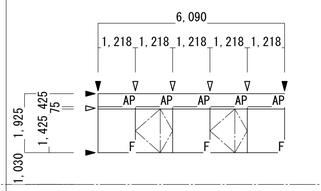
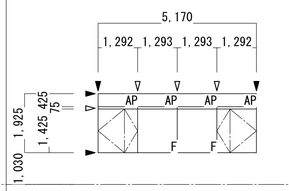
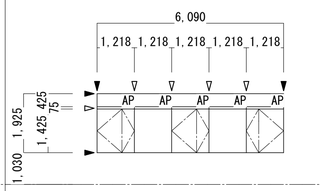
訂正	月	日

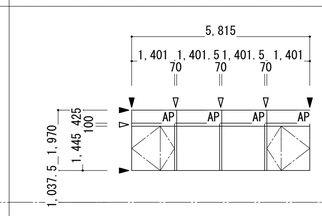
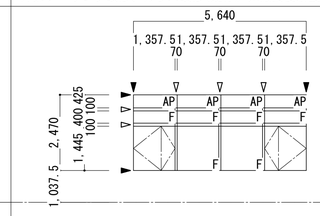
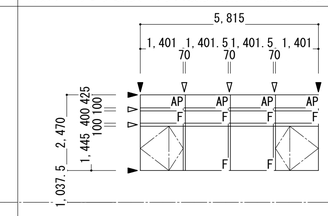
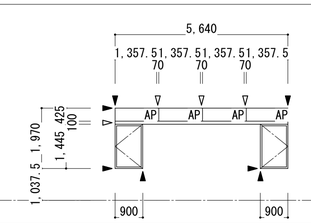
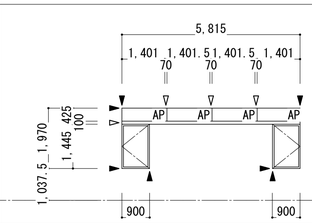
SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

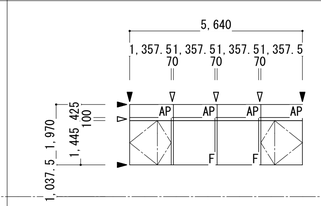
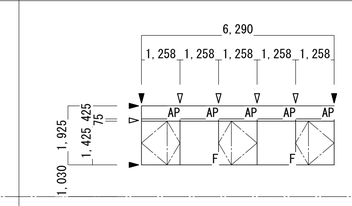
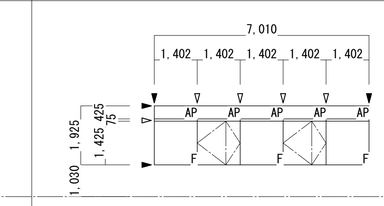
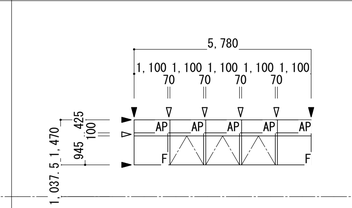
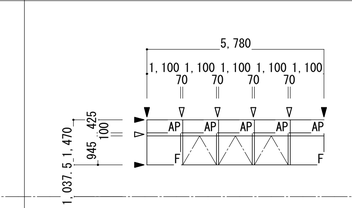
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL. 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A —— 80
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 既存 建具表(1)	縮尺 A1：1/100 A3：1/200

記号・型式	数量	CW 13E アルミAT100　段連窓	2	CW 14 アルミAT100　段連窓	1	CW 15 アルミAT100　段連窓	3	CW 16A アルミAT100　段連窓	2	CW 16B アルミAT100　段連窓	3	CW 16C アルミAT100　段連窓	2
取付場所		更衣室(男)		廊下		男子便所		キャットウォーク		キャットウォーク		キャットウォーク	
改修工事内容		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修	
形状・種類・寸法													
金物		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、DC、丁番	
ガラス 見込 塗装		ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+PW6.8 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+PW6.8 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防	

記号・型式	数量	CW 17 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 18 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 19 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 20 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 21 アルミカーテンウォール(枠付)	1		
取付場所		会議室、準備室		体力測定室		体力測定室		体力測定室		研修室2			
改修工事内容		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修			
形状・種類・寸法													
金物		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル			
ガラス 見込 塗装		ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ		
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防			

記号・型式	数量	CW 22 アルミAT100(段連窓)	3	CW 23 アルミAT100(段連窓)	5	CW 23A アルミAT100(段連窓)	2	CW 24 CW 24B CW 24C アルミAT100(段連窓)	CW-24 : 1 CW-24B : 2 CW-24C : 2	CW 24A アルミAT100(段連窓)	1
取付場所		チャイルドルーム、キャットウォーク		通路		通路		控室役員室、放送調整室、器具庫２		器具庫２	
改修工事内容		外部シーリング改修、ガラス改修(既存ｶﾞﾗｽ撤去後新設)		外部シーリング改修、ガラス改修(既存ｶﾞﾗｽ撤去後新設)		外部シーリング改修、ガラス改修(既存ｶﾞﾗｽ撤去後新設)		外部シーリング改修、ガラス改修(既存ｶﾞﾗｽ撤去後新設)		外部シーリング改修、ガラス改修(既存ｶﾞﾗｽ撤去後新設)	
形状・種類・寸法											
金物		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル	
ガラス 見込 塗装	既存	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 撤去 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 撤去 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 撤去 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 撤去 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 撤去 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
	改修	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 新設 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 新設 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 新設 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 新設 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 新設 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防	

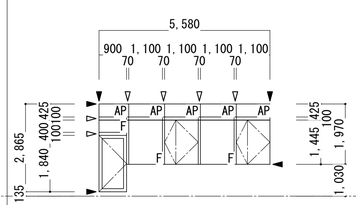
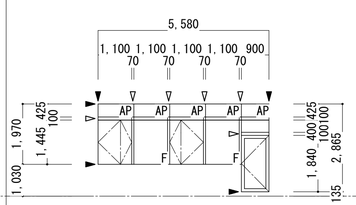
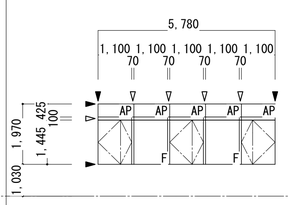
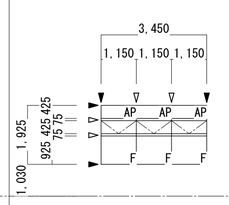
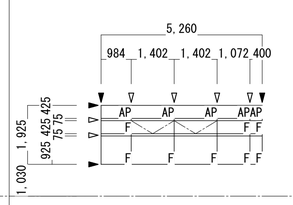
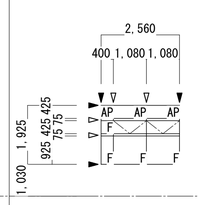
記号・型式	数量	CW 25 アルミAT100(段連窓)	5	CW 26 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 26A アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 27 アルミカーテンウォール(枠付)	3	CW 28 アルミカーテンウォール(枠付)	3
取付場所		キャットウォーク		研修室2		体力測定室		器具庫1		移動式観覧席	
改修工事内容		外部シーリング改修、ガラス改修(既存ｶﾞﾗｽ撤去後新設)		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修	
形状・種類・寸法											
金物		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル	
ガラス 見込 塗装	既存	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 撤去 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+F4 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
	改修	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)5 新設 アﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ								
備考		乙防									

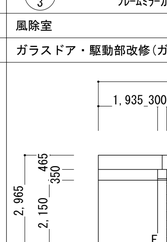
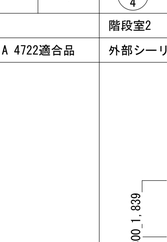
訂正	月	日

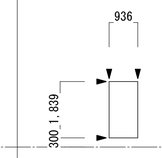
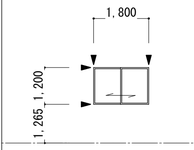
SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

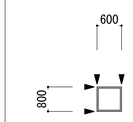
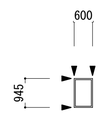
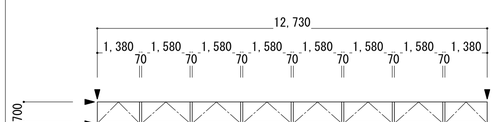
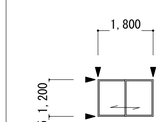
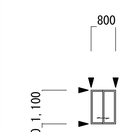
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(２８０８)１３１６号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙　橋	髙　橋	髙　橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A ―― 81
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙　橋	担当 髙　橋	承認年月日 ・　・	図面名称 既存 建具表(2)	縮尺 A1：1/100 A3：1/200

記号・型式	数量	CW 29 アルミAT100　段連窓	1	CW 29A アルミAT100　段連窓	1	CW 30 アルミAT100　段連窓	1	CW 31 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 32 アルミカーテンウォール(枠付)	1	CW 33 アルミカーテンウォール(枠付)	1
取付場所		キャットウォーク		キャットウォーク		キャットウォーク		階段室2		階段室3		階段室3	
改修工事内容		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修	
形状・種類・寸法													
金物		ハンドル、丁番、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠		ハンドル、丁番、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠		ハンドル		オペレーター		オペレーター		オペレーター	
ガラス 見込 塗装		ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+PW6.8 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防	

記号・型式	数量	CW 34 アルミAT100　段連窓	1	CW 35 アルミAT100(段連窓)	3	CW 36A アルミAT100　段連窓	1	CW 36B アルミAT100　段連窓	1	CW 37 アルミAT100　段連窓	1	CW 38 アルミカーテンウォール(枠付)	1
取付場所		通路		チャイルドルーム、通路、キャットウォーク		通路		キャットウォーク		更衣室(女)、健康体力相談室		階段室2	
改修工事内容		外部シーリング改修		外部シーリング改修、ガラス改修(既存ｶﾞﾗｽ撤去後新設)		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修	
形状・種類・寸法													
金物		オペレーター				ハンドル		ハンドル		ハンドル		ハンドル	
ガラス 見込 塗装		ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	既存 PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)6 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま 撤去	100	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+ 熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)6	100	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)6 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+PW6.8 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	100	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+PW6.8 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0	80	ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ
					改修 PW6.8+6A+熱線吸収ｶﾞﾗｽ(ア)6 / ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t＝2.0 既存のまま 新設								
備考													

記号・型式	数量	SSD 1 ｺｰﾅｰ付両開きｽﾃﾝﾚｽ自動ドア ﾌﾚｰﾑﾐﾗｰ加工	1	SSD 2 フラッシュドア	2	SSD 3 ｺｰﾅｰ付両開きｽﾃﾝﾚｽ自動ドア ﾌﾚｰﾑﾐﾗｰ加工	1	SSD 4 フラッシュドア	1	AW 5A アルミ引違窓	1
取付場所		風除室		アリーナ上部		風除室		階段室2		倉庫2	
改修工事内容		ガラスドア・駆動部改修(ガラスドア・駆動部撤去後新設) JIS A 4722適合品 外部シーリング改修		外部シーリング改修		ガラスドア・駆動部改修(ガラスドア・駆動部撤去後新設) JIS A 4722適合品		外部シーリング改修		外部シーリング改修、ガラス改修(既存ｶﾞﾗｽ撤去後新設)	
形状・種類・寸法											
金物		既存 エンジン一式　撤去 改修 エンジン一式　新設　シリンダー錠、その他付属金物一式		本締付モノロック、ピボットヒンジ、DC		既存 エンジン一式　撤去 改修 エンジン一式　新設　シリンダー錠、その他付属金物一式		本締付レバー錠、ピボットヒンジ、DC		本締付レバー錠、ピボットヒンジ、DC	
ガラス 見込 塗装		既存 FIX:FL8　既存のまま ドア：強化ｶﾞﾗｽ(ア)12　撤去		ｽﾃﾝﾚｽﾐﾗｰ加工　一部撤去		既存 FIX:FL8　既存のまま ドア：強化ｶﾞﾗｽ(ア)12　撤去		ｽﾃﾝﾚｽﾐﾗｰ加工		既存 FL5+6A+FW6.8　撤去	100 ｽﾃﾝﾚｽﾐﾗｰ加工
		改修 FIX:既存のまま ドア：強化ｶﾞﾗｽ(ア)8　新設	100	ｽﾃﾝﾚｽﾐﾗｰ加工　撤去部新設		改修 FIX:既存のまま ドア：強化ｶﾞﾗｽ(ア)8　新設	100	ｽﾃﾝﾚｽﾐﾗｰ加工	100	改修 FL5+6A+FW6.8　新設	
備考		ﾃﾗｵ同等品				ﾃﾗｵ同等品				乙防	

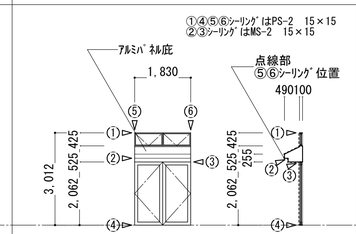
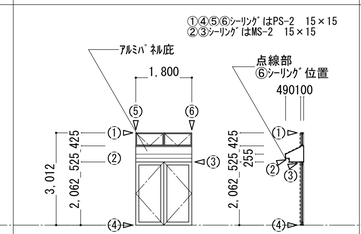
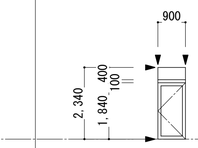
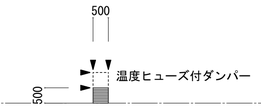
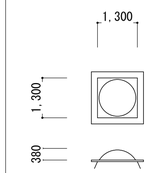
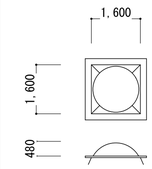
記号・型式	数量	AW 1 アルミ突き出し窓　AT100	13	AW 2 2A アルミ突き出し窓　AT100	AW-2 ：6 AW-2A：1	AW 4 アルミ突き出し窓8連窓　AT100	2	AW 5 アルミ引違窓	1	AW 6 アルミ引違窓	1
取付場所		階段室4、階段室5、EV機械室		便所(男)、便所(女)、階段室1		アリーナ上部		休憩室		管理室	
改修工事内容		外部シーリング改修、ハンドル交換(12ヶ所)		外部シーリング改修		外部シーリング改修、電動オペレーター改修(駆動部、チェーンケース、ケーブル交換)		外部シーリング改修		外部シーリング改修	
形状・種類・寸法											
金物		ハンドル、アーム		ハンドル、アーム		電動オペレーター　4連(2ヶ所使い8連)2ヶ所、丁番、水切		クレセント、戸車		クレセント、戸車	
ガラス 見込 塗装		ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL6.8	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL6.8	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	断熱ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(ア)20	100 フッ素塗装 四方額縁(フッ素塗装)外部共	FL5+6A+FW6.8	100 ｽﾃﾝｶﾗｰ 四方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ	FL5+6A+PW6.8	100
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		乙防	

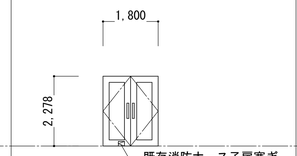
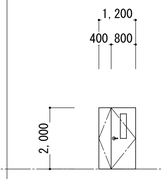
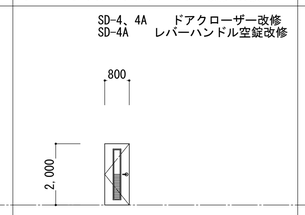
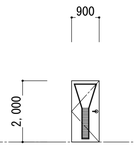
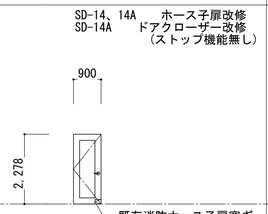
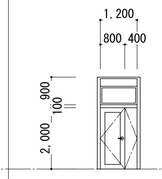
訂正	月	日

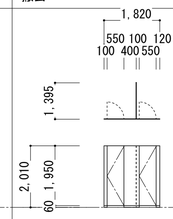
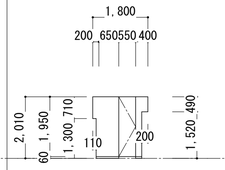
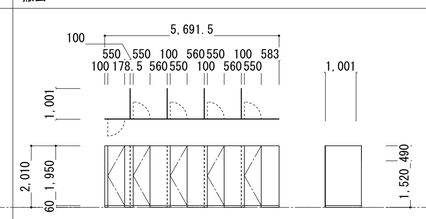
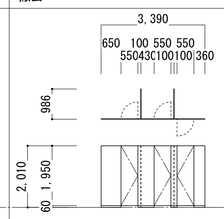
SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808)1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A ―― 82
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 既存 建具表(3)	縮尺 A1：1/100 A3：1/200

記号・型式	数量	AD 1 ランマはめ殺し付框ドア	1	AD 2 ランマはめ殺し付框ドア	1	AD 3 ランマはめ殺し付框ドア	1	AG 1 固定ガラリ	1	TL 1 ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ(複層タイプ)	10	TL 2 ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ(複層タイプ)	1
取付場所		通用口1		通用口2		キャットウォーク		EV機械室		屋上		屋上	
改修工事内容		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		外部シーリング改修		オペレーター改修(ワイヤー交換)		オペレーター改修(ワイヤー交換)	
形状・種類・寸法													
▽FL													
金物		丁番、本締錠、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾌﾗｽﾝｽ落し、ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ、押棒、DC		丁番、本締錠、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾌﾗｽﾝｽ落し、ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ、押棒、DC		丁番、本締錠、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ		ステンレス防虫網付		1300×1300 オペレーター		1600×1600 オペレーター	
ガラス 見込		ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FW6.8	100	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FW6.8	100	ﾐﾗｰｶﾞﾗｽ(ア)6+6A+FL5	100		100	FW6.8	100	FW6.8	100
ガラス 塗装		三方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ		三方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ		三方額縁ｱﾙﾐｽﾃﾝｶﾗｰ							
備考		乙防		乙防		乙防		乙防		アクリル樹脂製 乙防		アクリル樹脂製 乙防	

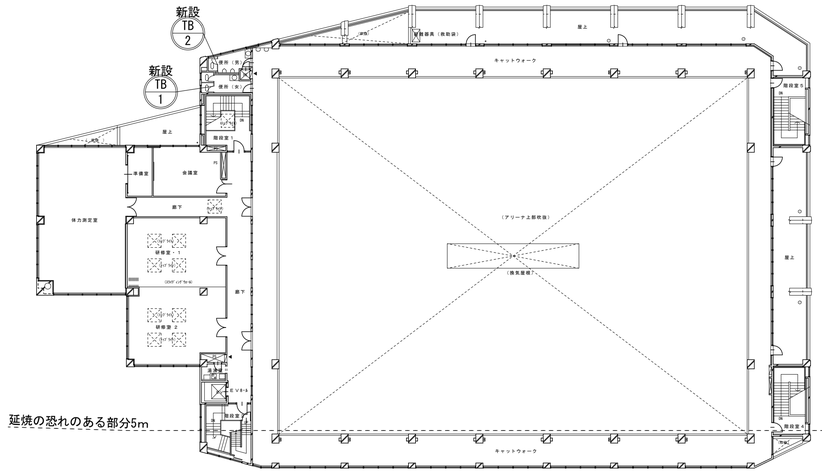
記号・型式	数量	SD 1A2 フラッシュドア	2	SD 2A フラッシュドア	1	SD 4 SD 4A フラッシュドア	SD-4 : 8 SD-4A : 6	SD 11B 額入りフラッシュドア	1	SD 14 SD 14A フラッシュドア	2	PT 1 パーテーション 親子ドア	
取付場所		アリーナ		印刷室		廊下、洗面シャワー室、便所		事務室		アリーナ		事務室	
改修工事内容		ホース子扉改修		ドアクローザー改修(交換)		レバーハンドル・ドアクローザー改修(交換)		ドアクローザー改修(交換)		ホース子扉、ドアクローザー改修(交換)		ドアクローザー改修(交換)	
形状・種類・寸法													
金物		本締錠、押棒、PH、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、順位調整器		本締錠、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、PH、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、ﾌﾗｽﾝｽ落し		本締錠、押棒、PH、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、順位調整器		本締錠、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、PH、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ		ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、本締錠、PH、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ		錠、戸当、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、他付属金物	
ガラス 見込			200	F4	173		200	強化ｶﾞﾗｽ(型)4	187		200～250	強化ｶﾞﾗｽ(透明)4	70
ガラス 塗装		OP		OP		OP 甲防		OP		OP		OP	
備考		パネル：グラスウール充填 甲防				パネル：グラスウール充填 甲防				パネル：グラスウール充填 甲防			

記号・型式	数量	TB 1 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 巾木付きﾀｲﾌﾟ	3	TB 2 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 巾木付きﾀｲﾌﾟ	3	TB 3 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 巾木付きﾀｲﾌﾟ	2	TB 5 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 巾木付きﾀｲﾌﾟ	2
取付場所		1～3F便所(女)		1～3F便所(男)		1～2F便所(女)		1～2F便所(男)	
改修工事内容		撤去		撤去		撤去		撤去	
形状・種類・寸法									
▽FL									
金物		付属金物一式 (ｽﾃﾝﾚｽ)		付属金物一式 (ｽﾃﾝﾚｽ)		付属金物一式 (ｽﾃﾝﾚｽ)		付属金物一式 (ｽﾃﾝﾚｽ)	
ガラス 見込			扉、仕切り壁：13		扉、仕切り壁：13		扉、仕切り壁：13		扉、仕切り壁：13
ガラス 塗装		OP		OP		OP		OP	
備考		アイカ：ソリットバー同等品		アイカ：ソリットバー同等品		アイカ：ソリットバー同等品		アイカ：ソリットバー同等品	

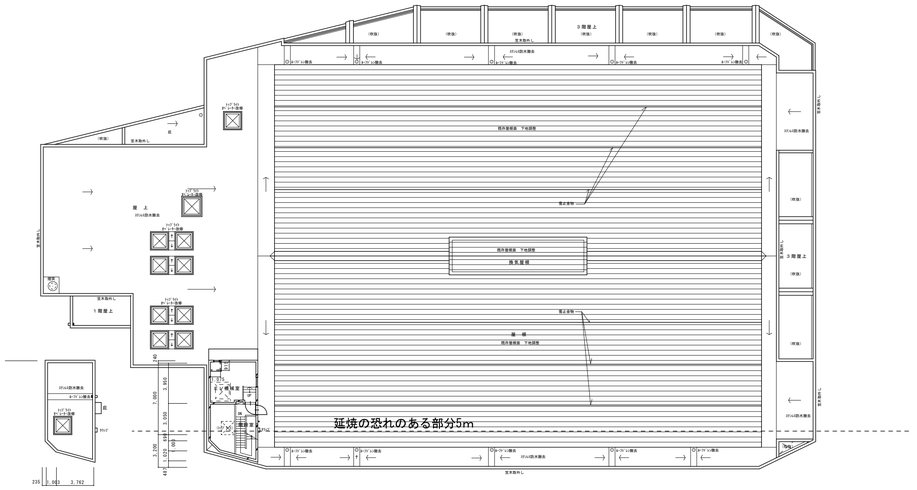
訂正	月	日

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

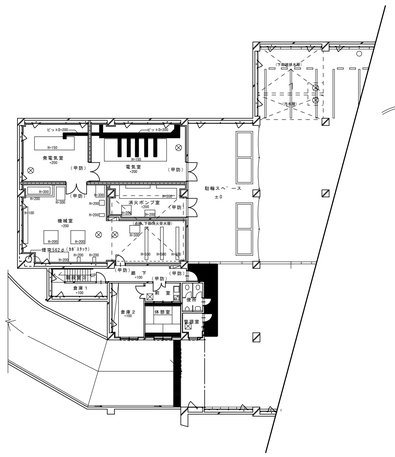
設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 83
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 既存 建具表(4)	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200



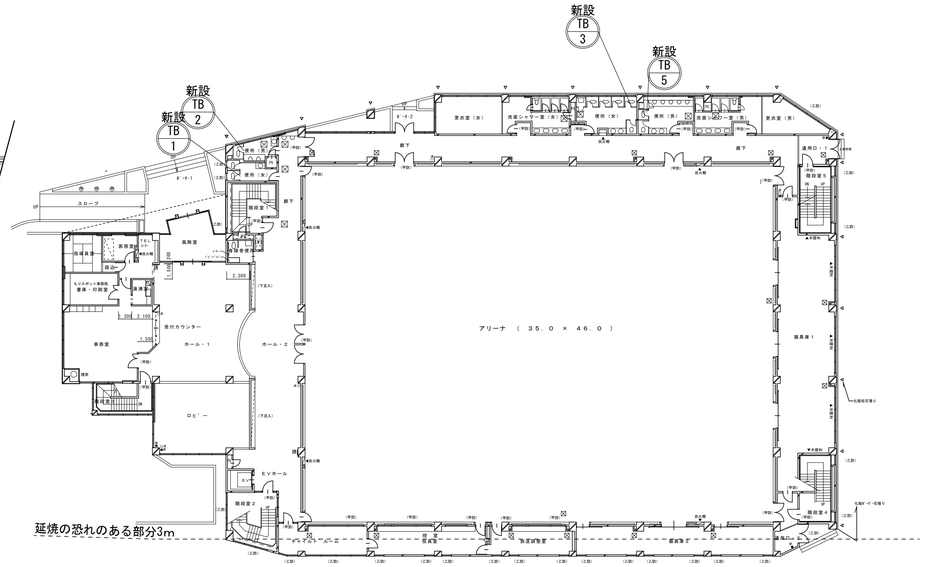
改修3階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300



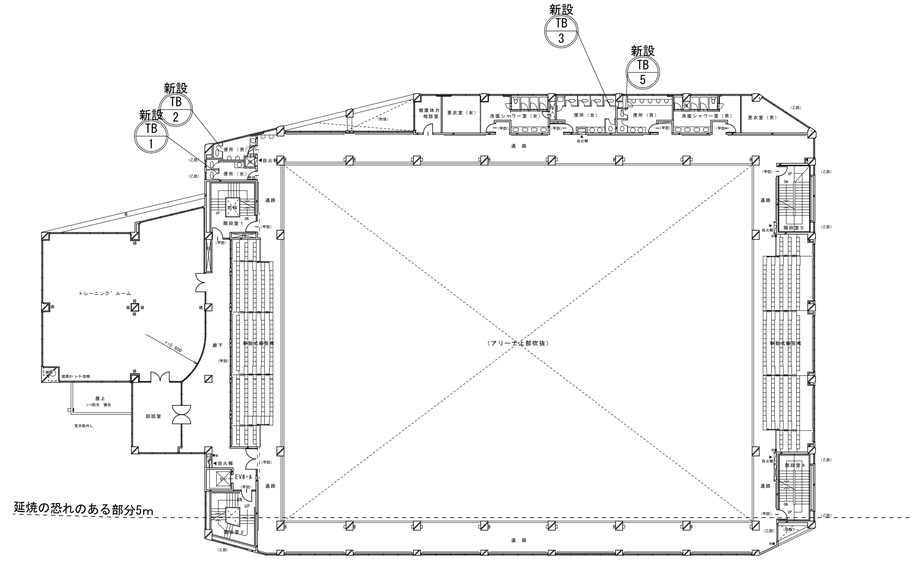
改修R階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300



改修B1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300

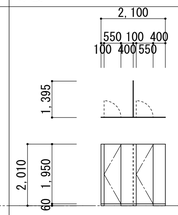
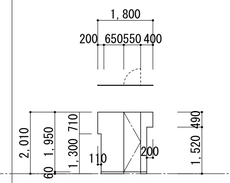
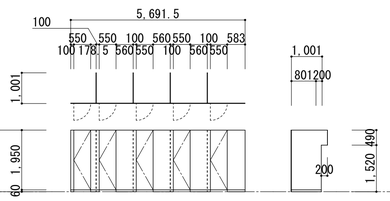
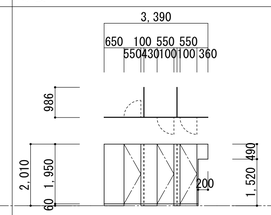


改修1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300



改修2階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/300

訂正	月	日							
			SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE	一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号 TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221	設計年月日 R6・ 2・ 一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	設計 髙 橋 製図 髙 橋	検図 髙 橋 担当 髙 橋	承認印 髙 橋 承認年月日 ・ ・	工事名称 盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事 図面名称 改修 建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ 縮尺 A1： 1/300 A3： 1/600	図面番号 A —— 84

記号・型式	数量	TB 1 トイレブース　巾木付きタイプ	3	TB 2 トイレブース　巾木付きタイプ	3	TB 3 トイレブース　巾木付きタイプ	2	TB 5 トイレブース　巾木付きタイプ	2	
取付場所		1～3F便所(女)		1～3F便所(男)		1～2F便所(女)		1～2F便所(男)		
改修工事内容		新設		新設		新設		新設		
形状・種類・寸法										
金物		表示付きラッチ錠、付属金物一式（ステンレス）		表示付きラッチ錠、付属金物一式（ステンレス）		表示付きラッチ錠、付属金物一式（ステンレス）		表示付きラッチ錠、付属金物一式（ステンレス）		
ガラス	見込	扉、仕切り壁：13		扉、仕切り壁：13		扉、仕切り壁：13		扉、仕切り壁：13		
備考		アイカ：コンパクトブース同等品		アイカ：コンパクトブース同等品		アイカ：コンパクトブース同等品		アイカ：コンパクトブース同等品		

記号・型式	数量	
取付場所		
改修工事内容		
形状・種類・寸法		
金物		
ガラス　見込　塗装		
備考		

記号・型式	数量	
取付場所		
改修工事内容		
形状・種類・寸法		
金物		
ガラス　見込　塗装		
備考		

記号・型式	数量	
取付場所		
改修工事内容		
形状・種類・寸法		
金物		
ガラス　見込　塗装		
備考		

訂正	月　日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙　橋	髙　橋	髙　橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A —— 85
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙　橋	担当 髙　橋	承認年月日 ・　・	図面名称　改修 建具表　縮尺 A1：1/100 A3：1/200	

廊下

端部１列目は
バウンドゴム無しとする

制振鋼板デッキプレート（斜線部撤去）
Ｖ－５０×１．２
６３４×３５９５

捨張コンパネｔ15（斜線部撤去）

廊下

カバ大型積層フローリング゛ｔ18（斜線部撤去）
三井ライナーＡ
ポリウレタン樹脂塗装３回塗り仕上

廊下

端部１列目は
バウンドゴム無しとする

体育器具基礎

ホール・２

アリーナ

アリーナ

器具庫１

器具庫１

4691

4689

G
F
E
D
C
B

250
7,000
7,000
7,000
7,000
7,000
250
35,500

床下点検口（アルミ枠）
６００×６００，８個所

東サポートパイプ３４φ×２．０
@９００×９００
ホークアンカー１２．７φ@２７００
これ以外の個所はバッファーピン
@９００にて固定する

器具庫２

大引鋼ロー５０×５０×１．６@９００

3,000
3,000
400

250
6,500
6,600
6,600
6,600
6,600
6,600
6,500
250
46,500

4
5
6
7
8
9
10
11

アリーナ　既存　鋼製床伏図　　Ｓ＝１／１００

アリーナ撤去　床仕様　Ｈ＝５００

床（斜線範囲）
カバ大型積層フローリング゛ｔ18　撤去
捨張コンパネｔ15　撤去
制振鋼板デッキプレートＶ－５０×ｔ１．２　撤去
大引鋼ロー５０×５０×１．６@９００　既存のまま
束サポートパイプ３４φ×２．０　既存のまま

※バスケットゴール下付近及び器具庫出入口付近の床の沈みが酷く、
原因と考えられる移動式バスケットゴールの移動範囲を補強範囲とする。

凡例

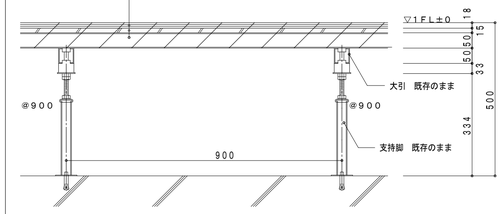
撤去範囲を示す

アリーナ

カバ大型積層材フローリングｔ18　一部撤去
ポリウレタン樹脂塗装３回塗り仕上

捨張コンパネｔ１５　一部撤去

制振鋼板デッキプレート　Ｖ－５０×ｔ１．２　一部撤去

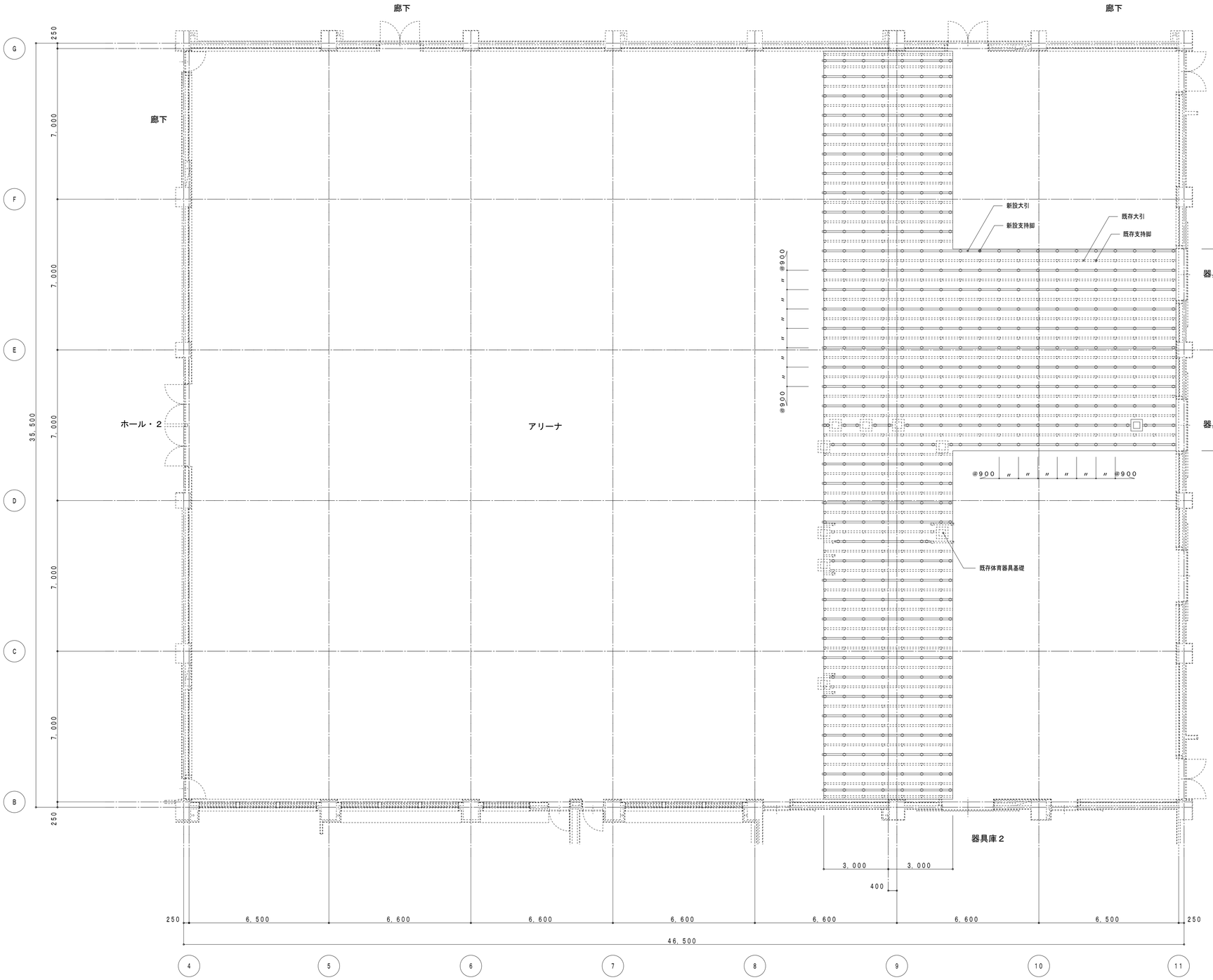


アリーナ　既存　鋼製床断面詳細図　　Ｓ＝１／１０

訂正	月　日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙　橋	髙　橋	髙　橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A ―― 86
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙　橋	担当 髙　橋	承認年月日 ・　・	図面名称　既存 アリーナ床伏図、詳細図	縮尺 A1：1/100,10 A3：1/200,20

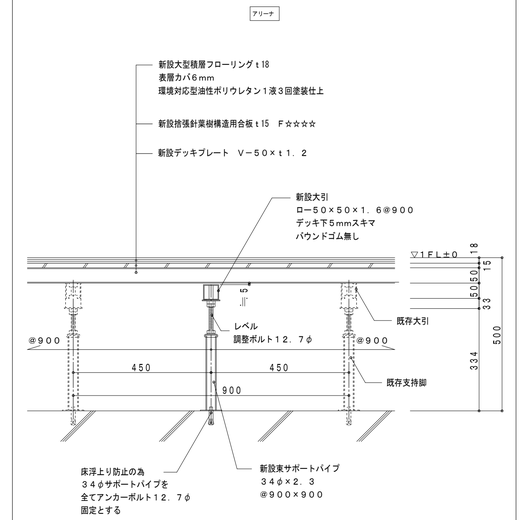


アリーナ　改修　鋼製床伏図　　Ｓ＝１／１００

アリーナ改修　床仕様　Ｈ＝５００

新設大型積層フローリング t 18
表層カバ６mm
環境対応型油性ポリウレタン１液３回塗装仕上
新設捨張針葉樹構造用合板 t 15　Ｆ☆☆☆
新設デッキプレート　Ｖ－５０×ｔ１．２
新設大引　ロー５０×５０×１．６@９００
デッキ下５mmスキマ
バウンドゴム無し
新設束サポートパイプ　３４φ×２．３
@９００×９００
床浮上り防止の為３４φサポートパイプを
全てアンカーボルト１２．７φ固定とする
撤去部コートライン復旧

凡例	
----------	既存部分を示す

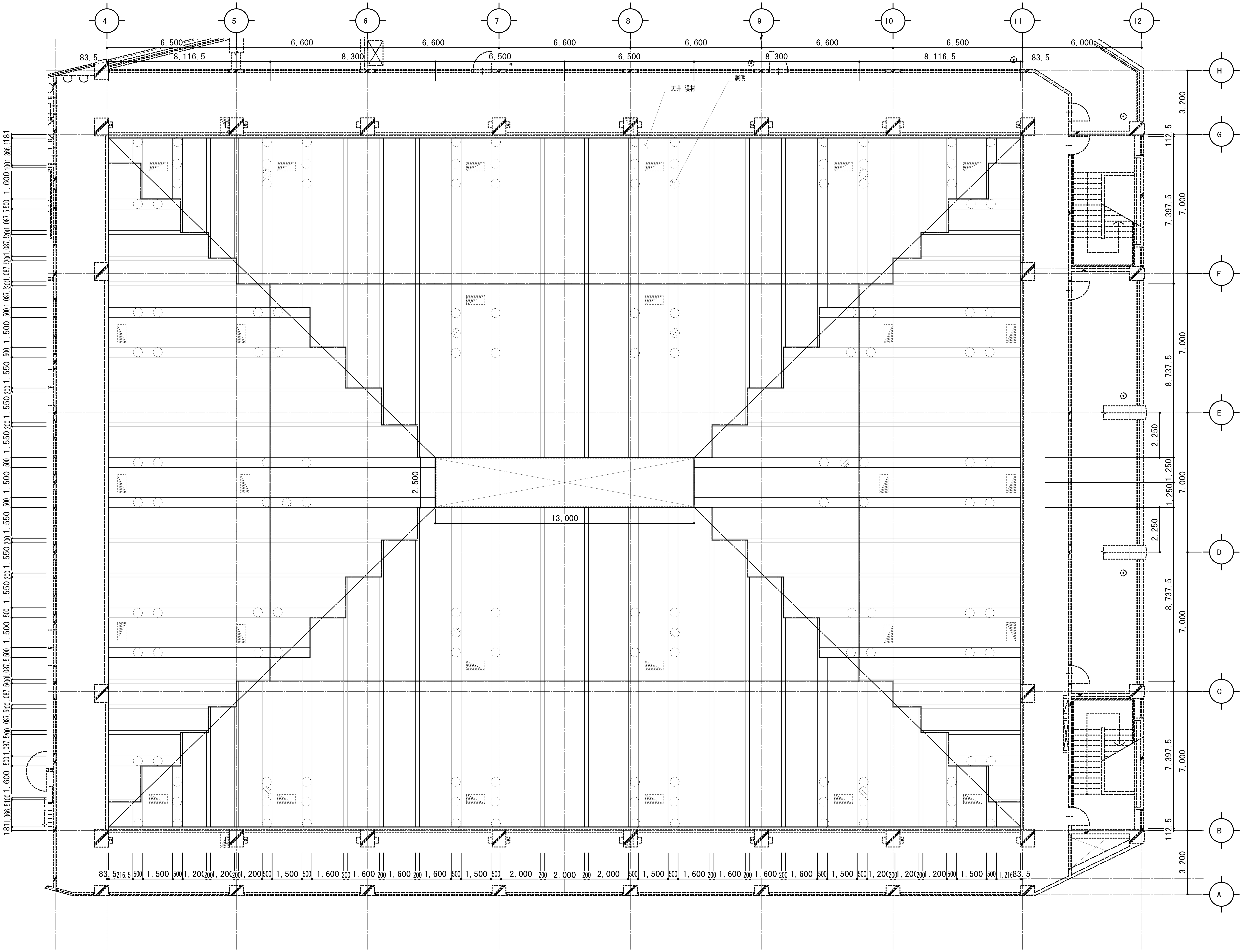


アリーナ　改修　鋼製床断面詳細図　　Ｓ＝１／１０

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙　橋	髙　橋	髙　橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A —— 87
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙　橋	担当 髙　橋	承認年月日 ・　・	図面名称　改修 アリーナ床伏図、詳細図	縮尺 A1：1/100, 10 A3：1/200, 20



天井伏図　S=1:100

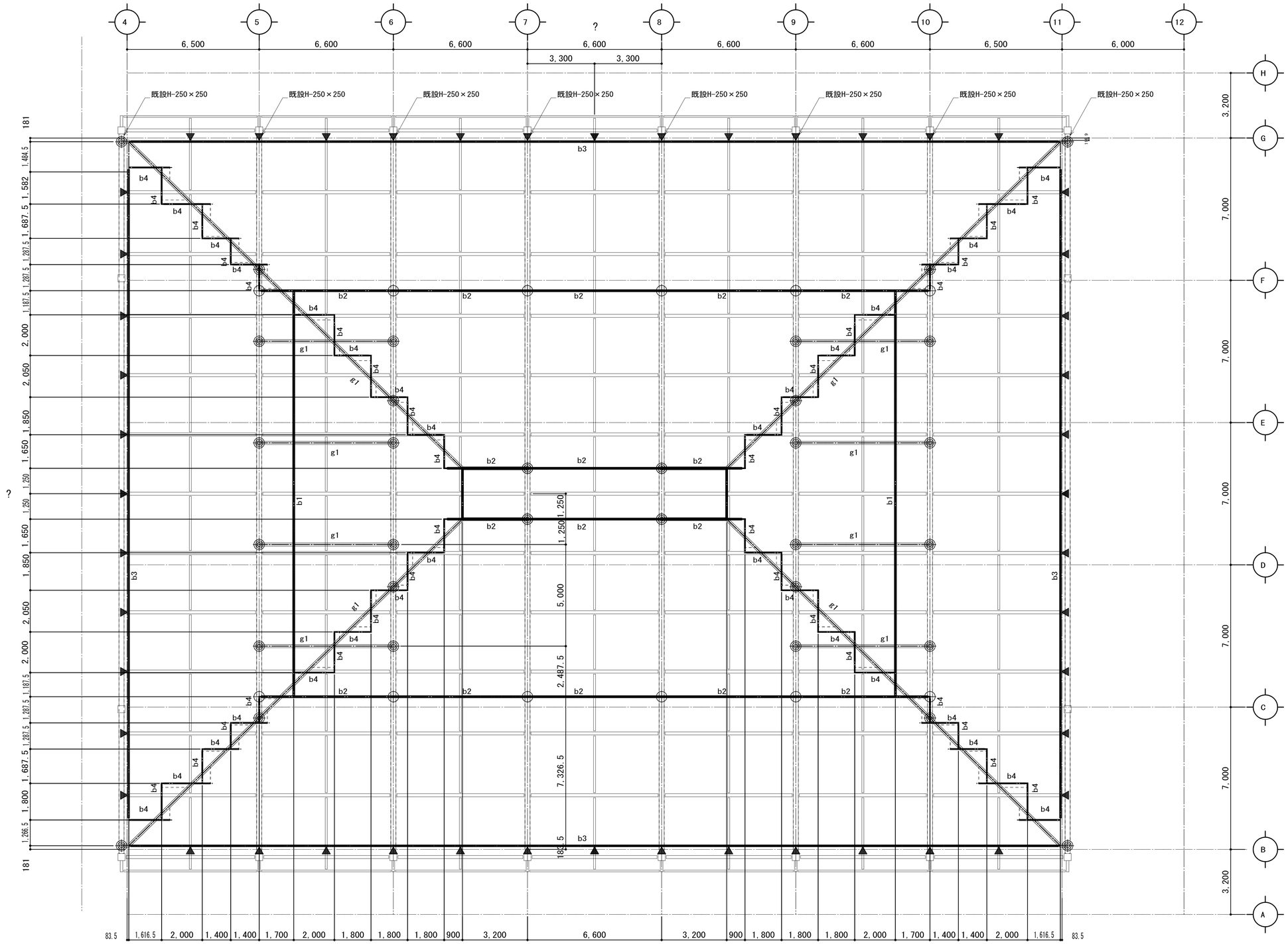
膜材料　GOTY　Aw

不燃材料
不燃認定　NM-4355
建築基準法第2条第九号

訂正	月	日

SASAKI AKIRA ARCHITECT OFFICE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号
R6・　2・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事		A —— 88
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・　・	図面名称 膜天井　天井伏図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	



天井下地材伏図　S=1:100

部材リスト

記　号	部　材	備　考
g1	H-150×150×7×10	SS400
b1	□-100×100×1.6t	STKR400
b2	□-100×100×1.6t	STKR400
b3	L-100×100×7t	SS400
b4	L-65×65×6t	SS400
b5	□-100×100×1.6t	STKR400

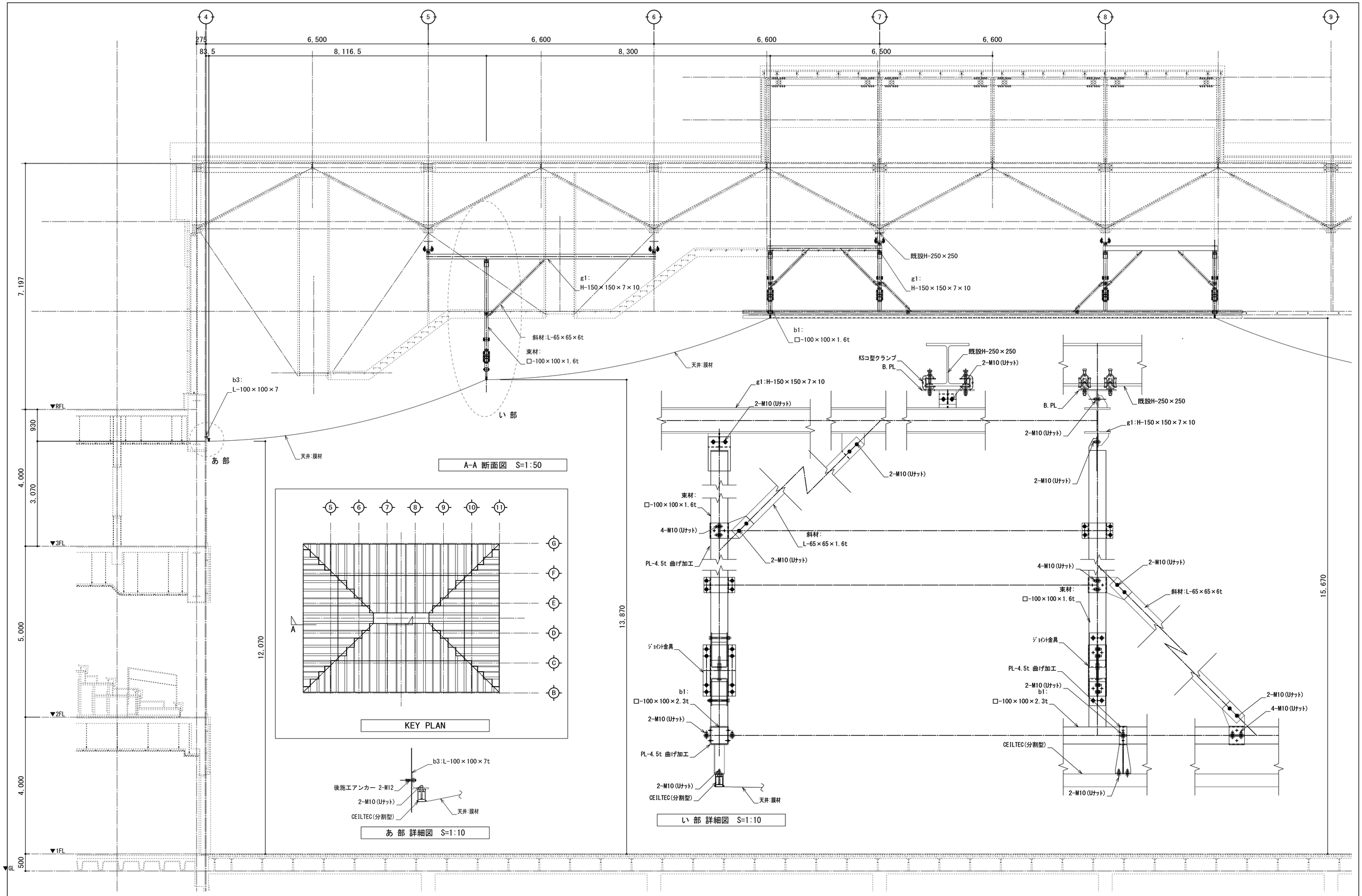
⊛ はg1材と既設梁との取合位置を示す。
⊕ はb2材と既設梁との取合位置を示す。
▲ はb3材と既設躯体との取合位置を示す。

※寸法は仮定であり、現場実測の上、再度検討を行う。

訂正	月　日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	髙　橋	髙　橋	髙　橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A —— 89
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 髙　橋	担当 髙　橋	承認年月日 ・　・	図面名称 膜天井　天井下地材伏図	縮尺 A1：1/100 A3：1/200

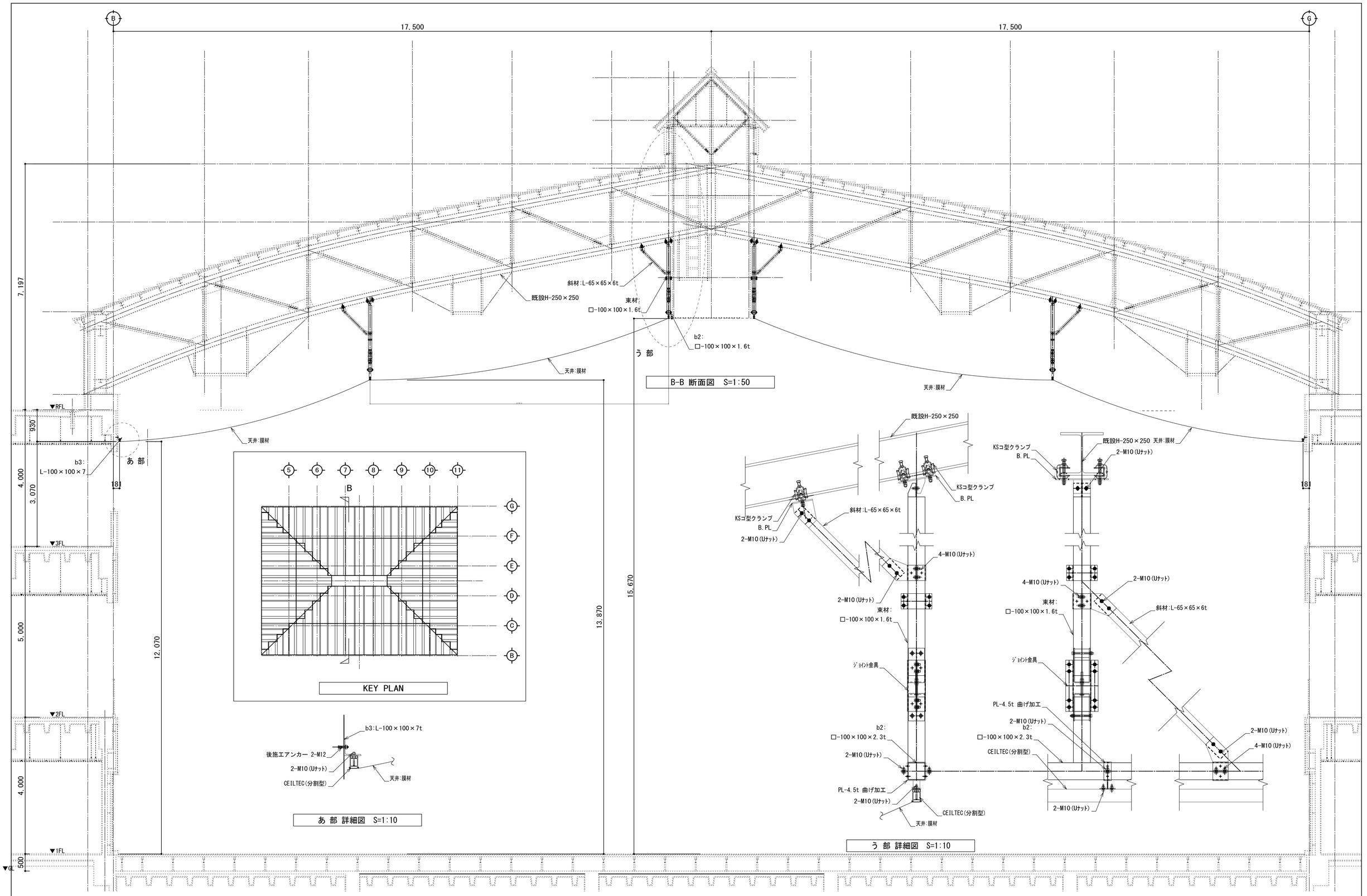


訂正	月	日									

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

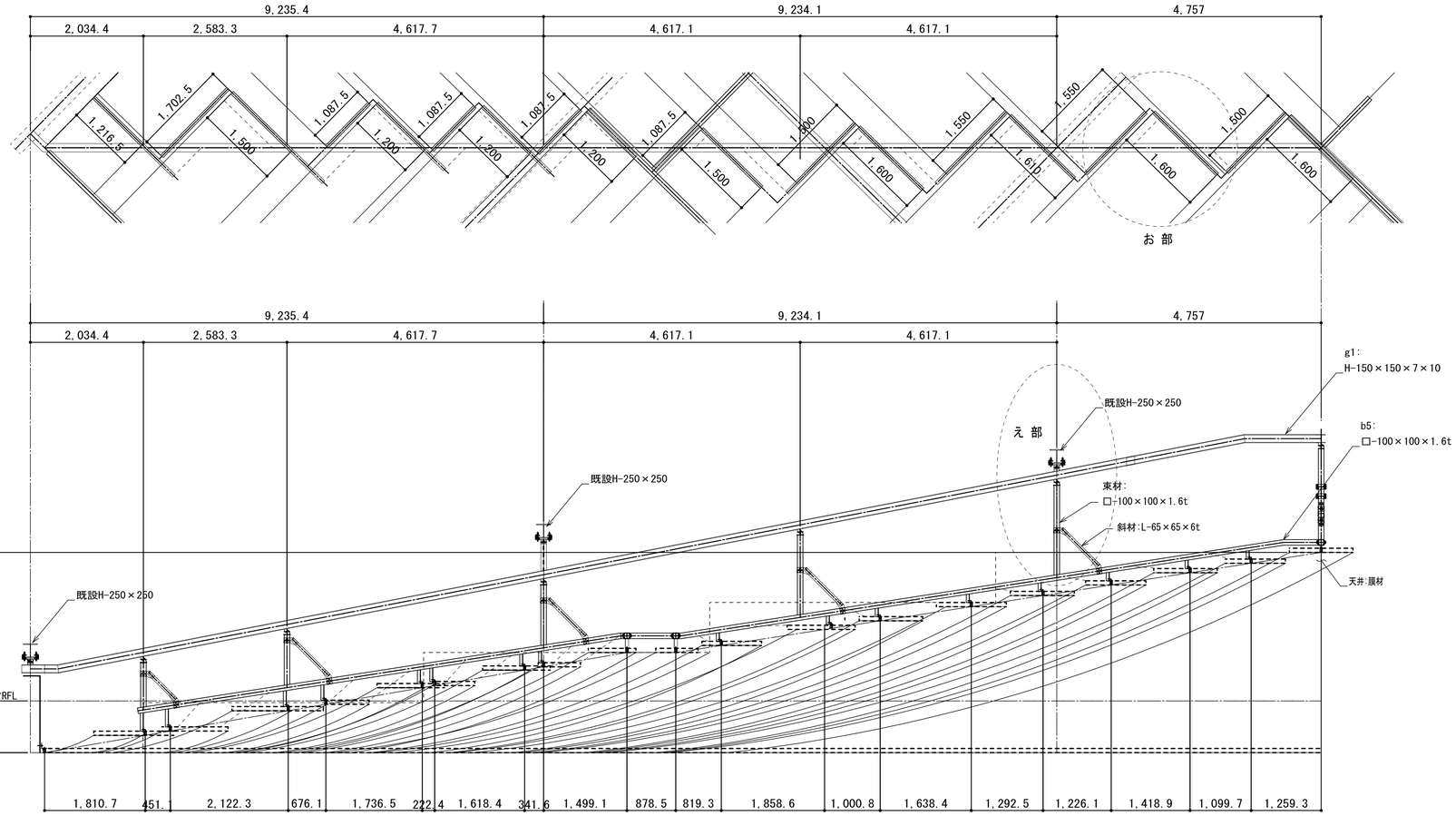
設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 90
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 膜天井 断面詳細図(1)	縮尺A1: 1/ 50,10 A3: 1/100,20



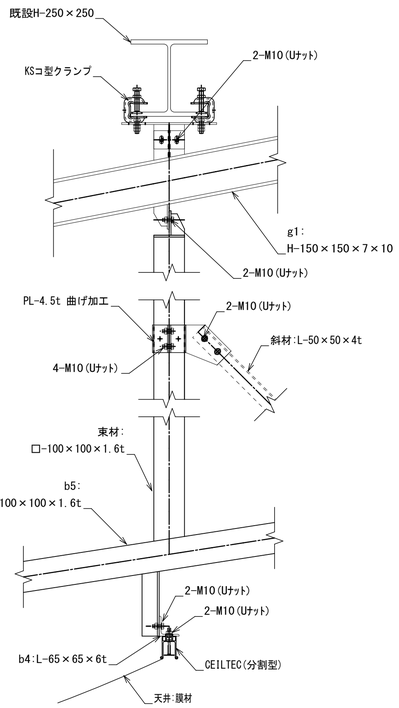
訂正	月	日	

SASAKI AKIRA ARCHITECT OFFICE
一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

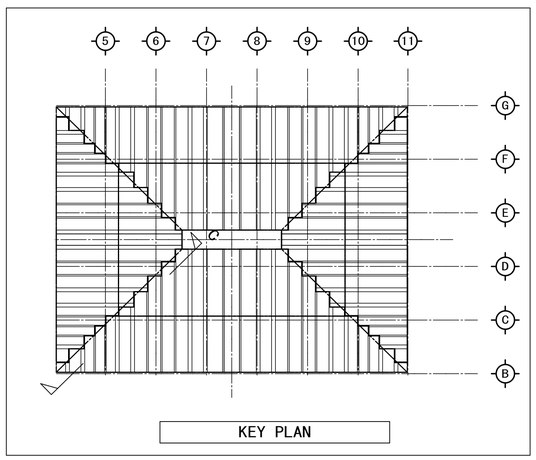
設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 91
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 膜天井 断面詳細図(2)	縮尺 A1: 1/ 50,10 A3: 1/100,20



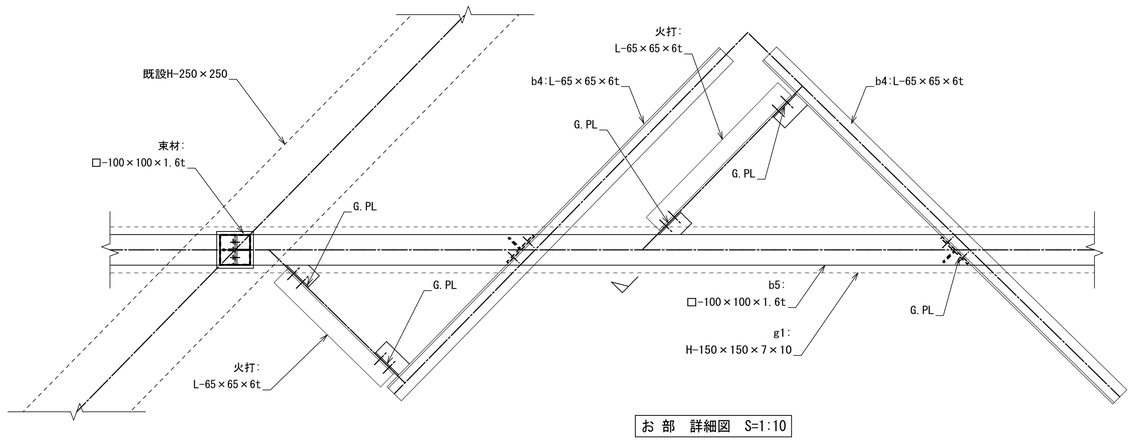
C-C 断面図 S=1:50



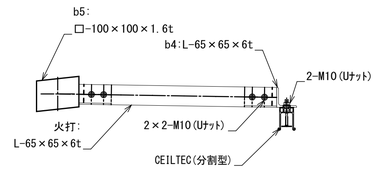
え 部 詳細図 S=1:10



KEY PLAN



お 部 詳細図 S=1:10



a 断面詳細図 S=1:10

訂正	月	日								
			SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お(2808) 1316号 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号 TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221	設計年月日 R6・ 2・	設計 高 橋	検図 高 橋	承認印 高 橋	工事名称 盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	図面番号 A —— 92
					一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋 雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 膜天井 断面詳細図(3)	縮尺 A1: 1/ 50, 10 A3: 1/100, 20

構造関係特記仕様書

Ⅰ．建物概要等　既存図から引用

1. 建物概要

工事名称		盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事			
工事場所		岩手県盛岡市上田三丁目425番3外			
主要用途		体育館	延べ面積	7,593.78	㎡
階数		地上 3 階 地下 1 階	塔屋 1 階		
建物高さ		23.277 m	軒高	13.500	m
工事種別		・新築 ・増築 ・改築 ○ 改修			
増築計画		・有り ⊙ 無し			
構造種別		地上 RC・SRC 造 一部S造 地下 造			
架構形式	X方向	(ラーメン) 構造			
	Y方向	(ラーメン) 構造			
耐震構造方式		⊙ 耐震構造 ・ 制振構造 ・ 免震構造 (免震層の位置：)			
基礎方式		・直接基礎 (・独立 ・連続 ・べた ・) ○杭基礎 (○既製コンクリート杭 ・鋼管杭 ・場所打ちコンクリート杭 ・) ・			
耐震安全性の分類		~~Ⅰ類 (↑×1.50)~~ ~~Ⅱ類 (↑×1.25)~~ ~~Ⅲ類 (↑×1.00)~~			

2. 構造計算条件

a 耐震設計条件

地震荷重	建物一次固有周期	( )秒	
	地盤種別	第 ( ) 種地盤	
	地域係数 Z	・1.0 ・0.9 ・0.8	
計算方法	X方向	・許容応力度計算 (ルート)	
		・保有水平耐力計算 (ルート３)	
		・	
	Y方向	・許容応力度計算 (ルート)	
		・保有水平耐力計算 (ルート３)	
		・	
設計層間変形角	X方向	一次設計	
		二次設計	
	Y方向	一次設計	
		二次設計	

b 耐風設計条件

基準風速 (V$_0$)	( ) m/秒
地表面粗度区分	・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ

c 耐積雪設計条件

建設地の標高	( ) m
多雪区域の指定	・有り ・無し
設計垂直積雪量	( ) cm

3. 地盤調査資料

調査内容	・地盤調査 (※ 標準貫入試験 ・ｽｳｪｰﾃﾞﾝ式ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ試験 ・)
	・土質試験 (・土粒子密度試験 ・含水比試験 ・粒度試験 ・液性限界、塑性限界試験
	・細粒分含有試験 ・一軸圧縮試験 ・圧密試験 ・)
	・孔内水平載荷試験
	・平板載荷試験
調査位置 ボーリング柱状図	構造図 (／ 図) による
液状化対策の検討	・有り ・無し

Ⅱ　建築工事仕様(構造関係)

1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和４年版)」(以下、「標仕」という)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に ◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と㊟印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月変更閣議決定）」に定める判断の基準を満たす物品を示す。
(5) 特記事項に記載の構造関係共通図（配筋標準図）は、配筋標準図（1）～（5）鉄骨標準図（1）～（3）を適用する。
(6) 関係法令の改正等により（条例を含む）、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応策について、監督職員と協議すること。

4章 地業工事

1 試験及び報告書

・杭基礎 (4.2.1)(4.2.2)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.6)
支持地盤の位置及び土質（基礎ぐい先端位置含む） ・図示による ・
試験杭の位置他 ・図示による ・
・直接基礎 (4.2.1)
支持地盤の位置及び土質（基礎底板の位置含む） ・図示による ・
試験掘り（根切底の確認） ・行わない ・行う（位置等は図示）
・杭の載荷試験 (4.2.3)
・行わない
・行う（ ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 ）
位置、本数等 ・図示による ・
・地盤の載荷試験（平板載荷試験） (4.2.4)
・行わない
・行う（位置、載荷荷重は図示による）
・報告書の記載事項 (4.2.3) (4.2.4) (4.2.5)
・標準仕様書4.2.5による ・

2 既製コンクリート杭地業

種類 (4.3.3)
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料（・ SKK400 ・ SKK490 ・ ）
・

杭の種類、性能、曲げ強度等 (4.2.2)(4.3.3)

	種類	種別	コンクリート強度(N/mm²)	杭長(m)及び種類等 杭径 (m)	厚さ (mm)	杭長 (m)	セット数	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭				上杭						
				中杭						
				下杭						
本杭				上杭						
				中杭						
				下杭						
				上杭						
				中杭						
				下杭						

試験杭 (4.2.2)
試験杭の位置、本数及び寸法
・図示による
杭先端部形状 (4.3.3)
・開放形 ・半開放形 ・閉そく形
施工方法 (4.3.3~4.3.5)
・打込み工法(・油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー)
プレボーリングの併用
行う
掘削深さ及び径
・構造図( )による
・行わない
打込杭設計支持力
・図示による。
・セメントミルク工法 (4.3.1) (4.3.4)
掘削深さ ・図示による ・
杭の支持地盤への根入れ深さ
・図示による ・
・特定埋込杭工法 (4.3.1) (4.3.5)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが下記の値を採用できる工法
α=( )、β=( )、γ=( )
工法 ・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・

杭継手工法 (4.3.3) (14.3.6) (7.2.5)
・アーク溶接継手
・標準仕様書4.3.6による ・
溶接材料
・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・図示による
・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法

杭頭の処理 (4.3.6)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断に伴う補強方法含む）
・図示による ・
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの ・
・

杭の精度 (4.3.4~4.3.5)
・水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下
・杭の傾斜
・1/100以内 ・評定条件又は認定条件による

杭施工に伴う発生汚泥の処理
※ 場内で固化の処理した後に搬出する
処理の工法：
・場外で処理
・

3 鋼杭地業

杭の種類（材料）、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.2)(4.4.5)

	種類	杭長(m)及び種類等 杭径 (m)	板厚 (mm)	杭長 (m)	継手数	本数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭		上杭						
		中杭						
		下杭						
本 杭		上杭						
		中杭						
		下杭						

試験杭 (4.2.2)
試験杭の位置、本数及び寸法
・図示による ・

施工方法
・特定埋込杭工法 (4.4.4)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式の内α、β、γが下記の値を採用できる工法
α=( )、β=( )、γ=( )
工法 ・中堀り拡大根固め工法
・
杭の精度 (4.4.4)
・水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下
・杭の傾斜
・1/100以内 ・評定条件又は認定条件による
杭の継手の工法 (4.4.3) (4.4.5) (7.2.5)
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・図示による
溶接部の確認方法
・標準仕様書7.6.10による
抜き取り率
・全数
・機械式継手
工法
※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法

杭頭の処理 (4.4.6)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断を伴う補強方法含む）
・図示による
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの ・

4 場所打ち
コンクリート杭地業

工法 (4.5.1)(4.5.4~4.5.6)
・アースドリル工法
・リバースエ法
・オールケーシング工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管の材料 ・SKK400 ・SKK490
・拡底杭工法
・

寸法等 (4.2.2) (4.5.4)

	鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭								
本 杭								

・孔壁の確認（超音波測定機による） (4.5.5)
測定箇所
・試験杭（ ）箇所、本杭（ ）箇所 ・
測定方法
・超音波測定器 ・
杭の支持層への根入り長さ
・図示による ・
杭の水平方向の位置ずれ精度
・杭径の1/4かつ100mm以下 ・
鉄筋の種類

種類の記号	呼び径 (mm)	備考
・SD295		
・SD345		

帯筋の加工及び組立 (4.5.4)
・図示による ・
鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)
・100mm ・
鉄筋かごの補強 (4.5.4)
・図示による ・
組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4) (5.2.4)
※重ね継手
重ね継手の長さ ※標準仕様書5.3.2による ・
・ (4.5.4) (5.2.4)
主筋の基礎底盤への定着長さ
・図示による ・
・ (4.5.4)
セメントの種類
・高炉セメントB種 G ・ (4.5.4)
コンクリートの種別
・A種 ・B種 (4.5.4)
・審査(評定又は大臣認定)された内容による
コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)
・図示による ・
スランプ (4.5.4)
・18cm ・21cm ・( ) cm

4章 地業工事

5 砂利地業

構造体強度補正値（S） (4.5.4)
※ 3 N/mm²
・図示による ( )
・評定等の内容による
杭の精度 (4.5.5)
水平方向の位置ずれ ・100mm 以下 ・
杭の傾斜 ・1/100以内 ・評定条件又は認定条件による ・
材料 (4.6.2~2)
・再生クラッシャラン G ・切込み砂利 ・切込み砕石
厚さ及び適用範囲

厚さ	適用箇所
※ 60	・基礎下 ・基礎梁下 ・土に接するスラブ下 ・土間コンクリート下
・	

6 砂地業

材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕石 (4.6.2)
砂の厚さ ※60mm
範囲 ・図示による

7 捨コンクリート地業

厚さ及び適用範囲 (4.6.4)

厚さ	適用箇所
※ 50	・基礎下 ・基礎梁下 ・土に接するスラブ下
・	

設計基準強度及びスランプ 設計基準強度 ※18N/mm ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・

8 床下防湿層

適用 ※適用する (・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・) (4.6.2)
・適用しない
施工範囲 ・図示による (4.6.5)

9 地盤改良
(セメント系固化材を用いた工法による改良)

工法 ・浅層混合処理工法
・深層混合処理工法
改良範囲、仕様(計測、試験等含む。)等 ・図示による

10 置換コンクリート地業
(ラップルコンクリート地業)

形状、支持地盤等等 ・図示による
支持地盤の長期設計支持力 ( ) kN/m²
型枠使用の有無 ・有り ・無し

5章 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

鉄筋の種類 (5.2.1)

規格の名称	種類の記号	呼び径(mm)	備考
鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・SD295	※ D16以下	
	・SD345	※ D19以上	

2 溶接金網

形状等 (5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位
・溶接金網	・		
・鉄筋格子	・		

3 鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)(5.5.3)(5.6.3)

適用箇所	継手の方法
柱及び梁主筋	・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手
耐力壁	・重ね継手 ・
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接
その他 ( )	・重ね継手 ・

継手位置 ※配筋標準図による ・
柱及び梁主筋、耐力壁の重ね継手の長さ
※標準仕様書表5.3.2及び標準仕様書5.3.4(3)(ア)による ・配筋標準図による
・先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合
・図示による ・
鉄筋の定着長さ
※標準仕様書表5.3.4による ・配筋標準図による
機械式定着工法
・適用しない ・適用する (適用箇所, 種類 ・図示による ・)

4 .鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)
(溶接金網含む)
軽量コンクリートの適用
・無し
・有り 適用箇所 ( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm

5.各部配筋 各部配筋 ・配筋標準図 (1) ～ (5) による (5.3.7)
・図示による

6 ガス圧接完了後の試験 抜取試験 ※ 超音波探傷試験 (5.4.10)
・ 引張試験

7 機械式継手 適用箇所 (5.5.3)
・図示による ・
平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.5.2)
A級 ・
鉄筋相互のあき (5.5.3)
・評定等の内容による ・図示による
施工完了後の継手部の試験 (5.5.5)
・外観試験（全ての継手部）
試験項目、試験方法 ・図示による ・
・超音波測定試験
試験対象 ・図示による ・
不合格となった場合の措置 (5.5.5)
・図示による ・

7 溶接継手 適用箇所 (5.6.3)
・図示による ・
平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3)
A級 ・
鉄筋相互のあき (5.6.3)
・図示による ・
溶接継手の工法 (5.6.3)
・図示による ・
施工完了後の継手部の試験 (5.6.5)
・外観試験（全ての圧接部）
試験項目、試験方法 ・図示による ・
・超音波測定試験
試験対象 ・図示による ・
不合格となった場合の措置 (5.6.5)
外観検査で不合格の場合
※不合格部を補修又は再溶接後、外観検査及び超音波検査を行う
超音波検査で不合格の場合
※不合格部を切り取って再溶接後、外観検査及び超音波検査を行う

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 93
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 構造特記仕様書(1)	縮尺 No Scale

5章 鉄筋工事

9 梁貫通孔の補強
補強形式
・ 配筋標準図（4）による
・ 大臣認定等による既製品（適用条件は全て認定内容による）

10 構造(耐震)スリット
耐震スリットの設置箇所 ・ 図示による ・
方式 ・ 完全 ・ 部分
形状 ・ 図示による ・
耐火、遮音、防水処理への配慮
適用箇所 ・ 図示による ・
仕様 ・ 図示による ・
耐震スリット部詳細 ・ 図示による ・

6章 コンクリート工事

1 コンクリートの類別等
コンクリートの種別 (6.2.1)（表6.2.1）
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

・ 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)（表6.2.2）

設計基準強度 Fc (N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m3)	スランプ (cm)	適用箇所
・24 ・	※ 2.3 程度	・15 ・18	基礎、基礎梁、土間スラブ
・24 ・	※ 2.3 程度	・18 ・	柱、梁、スラブ、壁
・			

構造体強度補正値 ※標準仕様書6.3.2による

2 セメント
種類 (6.3.1)

セメントの種類	適用箇所
※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種、又はフライアッシュセメントA種	※建物躯体(下記以外)
・ 高炉セメントB種 G	・
・フライアッシュセメントB種 G	・

・普通エコセメント
適用箇所（・ ）
再生骨材Hの使用 （・使用する ・使用しない ） (6.2.1)
湿潤養生期間（ ）日以上 (6.7.2)
型枠の最小存置期間（ ） (6.8.4)

3 骨材
使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 (6.3.1)
※A ・B
フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 (6.3.1)
・使用する 適用箇所（・ ）

4 混和材料 (6.3.2)
特記仕様書6.3.2(イ)(f)の①～③以外の混和材料
・遅乾剤（ ） ・遅乾剤（ ） ※使用方法、使用量のわかる資料を提出する

5 ひび割れ誘発目地、打継目地
目地寸法 ・標仕 9.7.3 (1) による ・図示による (6.6.4)(6.8.1)(9.7.2)
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・図示による ・ (6.8.1)
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上 (6.2.5)（表6.2.4）

種別	適用箇所
・A 種	・図示
・B 種	・図示
・C 種	・図示

コンクリート仕上りの平たんさの種別 (6.2.5)（表6.2.5）

種別	適用箇所
・a 種	・図示
・b 種	・図示
・c 種	・図示

6 コンクリートの仕上り

7 打増し厚さ
打放し部分の打増し厚さ (6.8.1)
・外部に面する部分 （・20mm ・ ）
・内部に面する部分 （・10mm ・20mm ・ ）

8 型枠
せき板の材料 ※標準仕様書6.8.2(1)(ア),(イ)による (6.8.2)
・合板（厚さ ※12mm ・ ）
・
・断熱材を兼用した型枠の適用箇所等 ・図示による ・ (6.8.2)
建築技術評価「断熱材兼用型枠工法の開発」において評価を取得したもの、又は同等以上とする。
加工・組立は製造所の仕様による
・MCR工法用シートの適用箇所等 (6.8.2)
・図示による ・
スリーブの材種、規格等 (6.8.2)
・図示による ・

9 軽量コンクリート
軽量コンクリートの適用 ・適用する ・適用しない (6.10.1)
適用箇所 ・図示による ・
種類 ・1種 ・2種 (6.10.2)（表6.10.1）
気乾単位容積重量 ・（ ） t/m³
スランプ ※21cm ・

10 寒中コンクリート
適用期間 ・図示による ・ (6.11.1)
構造体強度補正値（S） ・標準仕様書6.11.2(3)(ア)による (6.11.2)
・積算温度を基に定める（ ）

11 暑中コンクリート
構造体強度補正値（S） ※6N/mm² ・ (6.12.2)

12 マスコンクリート
適用箇所 ・図示による ・ (6.13.1)
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G (6.13.2)
・中庸熱ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 G
・低熱ポルトランドセメント ・シリカセメント
スランプ ※15cm ・ (6.12.2)

13 無筋コンクリート
コンクリートの種類 (6.14.1)
※普通コンクリート ・
設計基準強度 Fc （N/mm2 ） ※ 18 ・ (6.14.1)
スランプ ※15cm又は18cm ・ (6.14.1)
適用箇所 ※ 標準仕様書6.14.1(4)による ・図示による (6.14.1)
・標準仕様書表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 (6.14.1)
（ ）

14 流動化コンクリート
適用箇所 ・図示による ・ (6.15.1)

15 コンクリートの品質管理
コンクリートの単位水量の測定 ・ 行う ・ 行わない (6.5.1)

実施要領
(1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質 の異常が認められた場合に実施する。
(2) 単位水量の上限値は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」6.3.2(イ)(c)による。
(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして施工する。
1. 測定した単位水量が、計画調合書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2. 測定した単位水量が、設計値±15kg/m³を越え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに、生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台ごとに1回、単位水量の測定を行う。
3. 測定した単位水量が設計値±20kg/m³を越える場合は、その運搬車の生コンは打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±20kg/m³以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台ごとに1回、単位水量の測定を行う。
4. 前項3.の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4) 単位水量の管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、ｺﾝｸﾘｰﾄ温度等）と写真により提出する。
(5) 単位水量の測定方法は高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ又は静電容量測定法）、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は当該コンクリート製造所以外の機関とする。

7章 鉄骨工事

①鉄骨の製作工場
新設部分のみ
製作工場の加工能力 (7.1.3)
⊙ 国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（ R ）グレード以上
・ 監督職員の承認する工場

②施工管理技術者
※ 適用する ・ 適用しない (7.1.3)(7.1.4)

③鋼材 (7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格等
SS400	鋼材全般	⊙ JISによる ・
STKR400	角形鋼管受け材	⊙ JISによる ・
SSC400	軽量鋼材全般	⊙ JISによる ・
		・ JISによる ・
		・ JISによる ・
		・ JISによる ・

形状及び寸法 ⊙図示による ・ (7.2.1)
板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10)
・行う（適用箇所： ） ⊙行わない

④高力ボルト
高力ボルトの種類 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)
※ トルシア形高力ボルト
・ JIS形高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト
・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト
高力ボルトの寸法 ねじの呼び ※ 構造図による ・ (7.2.2)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※鉄骨標準図による ・ (7.3.2)
摩擦面のすべり係数試験 (7.4.2)
⊙適用しない ・適用する（・すべり係数試験 ・すべり耐力試験）

JIS形高力ボルトの締め付け（本締め） (7.4.7)
ナット回転の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの５倍を超える場合の回転量
・図示による ・

⑤普通ボルト
ボルトの寸法 ねじの呼び ※ 構造図による ・ (7.3.2)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※鉄骨標準図による ・ (7.3.2)

⑥ アンカーボルト
種類 (7.2.4)(7.10.3)
・ 構造用アンカーボルト ・ ABR400 ・ ABR490 ・
・ 建方用アンカーボルト ・ SS400 ・
アンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による ・ (7.3.2)

⑦ 溶接材料
溶接材料 (7.2.5)
※標準仕様書7.2.5(1),(2)による
・図示による

⑧ ターンバックル
種類 建築用ターンバックルボルト (7.2.6)
※羽子板ボルト ・
建築用ターンバックル胴
※割枠式 ・
ねじの呼び等 (7.2.6)
※図示による ・

⑨ 床構造用デッキプレート
材質、形状及び寸法 (7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備 考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			
・			

鉄骨部材への溶接方法
※ ・ 図示による

⑩ スタッド
種類等 (7.2.8)

呼び名	呼び長さ（mm）	適用箇所
・16		
・19		
・22		

⑪ 柱底均しモルタル
・無収縮モルタル (7.2.9)（表7.2.5）
※標準仕様書7.2.9(2)による ・
・標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル

⑫ 鉄骨の仮組
・行わない (7.3.10)
・行う（行う範囲 ・図示による ・ ）

⑬ 溶接作業を行う技能資格者
技量付加試験 (7.4.3)
⊙行わない
・行う（試験の要領 ・図示による ・ ）

⑭ 溶接接合
開先の形状 (7.6.4)
⊙鉄骨標準図による ・
鋼製エンドタブを切断する部分 (7.6.7)
※ 見え掛り部となる部分 ・ 全て切除する ・ 切除しない
・ 構造図による部分
切断範囲 ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
切断面の仕上げ ※標準仕様書7.6.7(1)(カ)(b)②による ・ (7.6.7)
スカラップの形状 ※鉄骨標準図による ・ (7.6.7)
低応力高サイクル疲労をを受ける部位 ・図示による ・ (7.6.7)

15 溶接部の試験
溶接部の外観検査
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験 (7.6.12)
試験の方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル（鉄骨製作管理技術者登録機構）」3.5.2受け入れ検査による
※ 抜き取り検査② ・ 抜き取り検査①
・
JASS 6 付則6の付表3「溶接」に関する試験
試験の方法
・jass 6 10.4「受入検査」e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験個所と同一とする。
・
・完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.12)
※ 行う ・ 行わない
・工場溶接の場合
AQL(%) ※ 4.0 ・ 2.5

節	・全て ・	・
検査水準	※第６水準	・

・工事現場溶接の場合
※全ての溶接部

⑯ 錆止め塗装
塗料の範囲 (7.8.2~4)（18.3.2）
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による（ ）
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
⊙図示による（ 鉄骨部分すべて ）
下記以外の塗料の種別は、標準仕様書 18章による
・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
・Ａ種 ・
・ 耐火被覆が接着する面の塗料の種別
※Ａ種 ・Ｂ種
・ 耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・

17 耐火被覆
種類、材料、工法等 (7.9.2~4)

種 類	材料・工法	耐火性能（時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材 吹付け	・乾式吹付け ロックウール		
	・半乾式吹付け ロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材 巻付け	・高断熱 ロックウール		
	・		
・ラス張り モルタル塗り	―		
・耐火塗料			

18 工事場施工
アンカーボルトの設置等
構造用アンカーボルトの形状及びす法 (7.10.2)
・図示による ・
構造用アンカーフレームの形状及びす法 (7.10.2)
・図示による ・
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1)
種別 ・Ａ種 ・Ｂ種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 (7.10.3)(表7.10.2)

工法	厚さ(mm)	適用箇所	材料
※Ａ種	・		無収縮モルタル
・Ｂ種	・		標準仕様書7.2.9(1)のモルタル

建方精度 (7.10.2)
※（社）日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6［鉄骨精度検査基準］付表５［工事現場］による。

⑲ 軽量型鋼
ボルトの接合方法 (7.11.2)
※ 構造図による ・

20 溶融亜鉛めっき工法（構造耐力上主要な部分）
種別等 (7.12.4)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材 料	適用箇所
A種(HDZ55)	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	※ 構造図による ・
B種(HDZ45)	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	
C種(HDZ35)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板	

・溶融亜鉛めっき高力ボルトの摩擦面の処理方法 (7.12.5)
※標準仕様書7.12.5(1)(ア),(イ)による
・

21 梁貫通孔の補強
補強方法
・ 補強プレート法
・ 補強トラス法
梁貫通孔径及び補強部材詳細
※ 構造図による

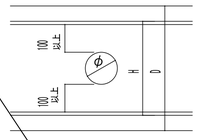
あらかじめ検討

1 軽微な変更への対応（あらかじめの検討）
施工の開係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、あらかじめの検討を行っている部分
本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を許容するものではない。
・ くいのズザんを考慮した検討
許容誤差（ ）
・ 小ばり位置の変更を見込んだ大ばりの検討
位置の変動寸法（ ）
検討範囲 ※図示による
・ 大きさの変更を見込んだスラブの検討
許容される大きさ、荷重条件（ ）
検討範囲 ※図示による
・ はり貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討
大きさの変動寸法（ ）
検討範囲 ※図示による

梁貫通孔補強要領図

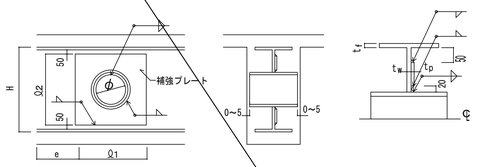
梁貫通孔補強要領図
（a）鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合で貫通孔部分を補強する場合に適用する。
（b）貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
（c）貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で２倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で３倍以上確保する。

梁貫通孔の位置の限度（単位：mm）



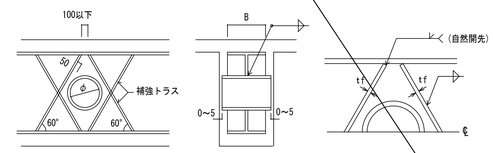
H ：鉄骨せい
D ：はりせい
φ：貫通孔内径寸法
（φ≦H/2かつφ≦D/3）

補強プレート法
（１）補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。
（２）補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。



Ω1は3φまたは Ω2 のうち小さい方とする。（e≧ H とする）
e：材端との補強プレートの間隔

補強トラス法
（１）スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。



訂正	月	日	

SASAKI AKIRA ARCHITECT OFFICE
一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	髙 橋	髙 橋	髙 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A —— 94
一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋 雅人	製図 髙 橋	担当 髙 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 構造特記仕様書(2)	縮尺 No Scale

鉄　骨　標　準　図

1．適用範囲

（1）構造関係共通図（鉄骨標準図）は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。

（2）構造関係共通図（鉄骨標準図）以外については、図面及び監督職員の指示による。

(3) この標準図を作成するに当たり使用した仕様書等

○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　（令和４年版）
　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

○建築工事監理指針　（令和４年版）
　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

○構造設計資料　（平成１１年版）
　社団法人　日本建築士事務所協会連合会

○日本産業規格（ＪＩＳ）

2．一般事項

2－1　設計品質

鉄骨は、施設に要求される構造耐力、耐久性及び耐火性等を有するものとする。

2－2　鉄骨製作工場

鉄骨製作工場は、対象工事の規模、鋼材の種別、最大板厚、加工の難易度等及び製作工場の工事実績、施工管理技術者の能力等を総合的に判断して選定を行う。

2－3　施工管理技術者、技能資格者

鉄骨工事全般及び各製作段階における施工管理技術者及び技能資格者は、性能確保上必要とされる能力を考慮して選定を行う。

2－4　優先順位

（1）設計図書間で配筋方法等に相違がある場合の優先順位は以下の通りとする。

1．特記仕様書
2．図面　(i) 設計図
　　(ii) 構造関係共通図（鉄骨標準図）
3．国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」

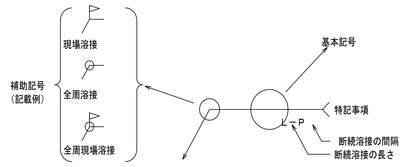
3．溶接接合

3－1　溶接記号

(1)　溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号

表３．１　溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号
設計図中で使用する記号は、JIS Z 3021-2016による。

分類			記号
溶接方法	アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接		H
	サブマージアーク自動溶接		A
	エレクトロスラグ溶接		E
溶接継手	完全溶込み溶接	突合わせ継手	B
		Ｔ形継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	フレア溶接		ＦＬ
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接		2



※完全溶込み溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図３．１　溶接記号の記載例

(2) 溶接記号の記載方法
溶接記号の記載方法は、図３．１による。
ただし、溶接方法又は溶接面の指定を行わない場合は、溶接継手記号のみを記入する。
完全溶込み溶接及び部分溶込み溶接の場合は、引出線を折線とし、開先をとる部材面に先端を向けるものとする。

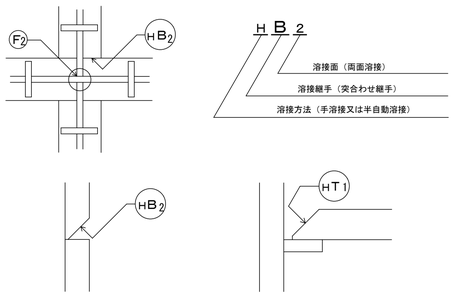


図３．２　溶接記号の記載方法

3－4　溶接継手の種類別開先標準

(1)　完全溶込み溶接

突合わせ継手の開先標準　（単位：mm）

H　アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接		A　サブマージアーク自動溶接	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t ≦ 6		t ≦ 12	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
G＝t		6	
6＜ t ≦19		12＜ t ≦22	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
35°　2　7	45°　2	30°　2　6	60°　6
19＜ t ≦40		22＜ t ≦40	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
35°　2　7	45°　2　D1　D2　60°	30°　2　6	60°　6　D1　D2　60°
	D1 =2（t－2）／3 D2 =（t－2）／3		D1 =（t－6）／2 D2 =（t－6）／2

Ｔ型継手の開先標準　（単位：mm）

H　アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接		A　サブマージアーク自動溶接	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t ≦ 6		t ≦ 12	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
35°　S　2　6		35°　S　2　6	
1／4　t≦S≦10		1／4　t≦S≦10	
6＜ t ≦19		12＜ t ≦22	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
35°　S　2　7	45°　S　2	35°　S　2　7	60°　S　6
1／4　t≦S≦10	1／4　t≦S≦10	1／4　t≦S≦10	1／4　t≦S≦10
19＜ t ≦40		22＜ t ≦40	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
35°　S　2　7	45°　S　2　D1　D2　60°	35°　S　2　7	60°　S　6　D1　D2　60°
1／4　t≦S≦10	D1=2（t－2）／3 D2=（t－2）／3 1／4　t≦S≦10	1／4　t≦S≦10	D1=（t－6）／2 D2=（t－6）／2 1／4　t≦S≦10

部材が直交しない場合の開先標準　（単位：mm）

H　アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
6＜ t ≦40	6＜ t ≦19	19＜ t ≦40
基本記号	基本記号	基本記号
≧60°　t　7　35°　S	≧60°　t　5　0　S　45°　S	≧75°　45°　t　0　2　2／3（t－2）　1／3（t－2）　S　60°
1／4　t≦S≦10	1／4　t≦S≦10	1／4　t≦S≦10

かど継手の開先標準　（単位：mm）

H　アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接		A　サブマージアーク自動溶接	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t ≦ 6		t ≦ 12	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
G　G＝t		6	
6＜ t ≦19		12＜ t ≦19	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
35°　2　7	45°　2　S	35°　2　7	50°　6　S
	1／4　t≦S≦10		1／4　t≦S≦10
19＜ t ≦40		19＜ t ≦40	
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
35°　2　7	45°　2　D1　D2　S　60°	35°　2　7	60°　6　D1　D2　S　60°
	D1=（t－2）／3 D2=（t－2）／3 1／4　t≦S≦10		D1=（t－6）／2 D2=（t－6）／2 1／4　t≦S≦10

隅肉溶接の開先標準　（単位：mm）

H　アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
t ≦16	t ≦16	16＜ t ≦40
基本記号	基本記号	基本記号
S　S　S	t　S　S	t　S／2　S／2　60°　60°　S　S

表３．２　隅肉溶接のサイズ（S）　（単位：mm）　（別表3.3）

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

(注) 隅肉溶接のサイズ（S）は、有効のど厚の和が板厚（t）と等しくなるよう、図3.7により求めたものである。

t ≦16mmの場合　S＝t／√2
16mm＜ t ≦40mmの場合　S＝t／√3

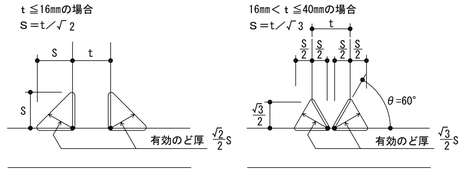


図３．３　隅肉溶接のサイズ

部分溶込み溶接の開先標準　（単位：mm）

開先形状	1（片面溶接）	2（両面溶接）
	12≦ t ≦40	16≦ t ≦40
基本記号	60分とけこみ溶接	60分とけこみ溶接
	t　S　D　S　45°　S	t　S　2　S　D1　D2　45°　45°
	D1=（t－2）／2 D2=（t－2）／2 1／4　t≦S≦10	

t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16

1／4　t≦S≦10

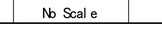
フレア溶接の開先標準　（単位：mm）

1（丸鋼等片面溶接）	2（丸鋼等両面溶接）	3（軽量形鋼Ｖ形溶接）	4（軽量形鋼レ形溶接）
基本記号	基本記号	基本記号	基本記号
d／2　d／2　d　d	d／2　d／2　d　d／2　d／2　d／2　d／2　d　d　d／2　d／2	S　t　t≧3のときS＝t t＜3のときS＝3	S　t　t≧3のときS＝t t＜3のときS＝3

3-3　フレア溶接を行う場合の溶接長さ

（ａ）鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合は下記による。
（ｂ）有効溶接長さ（Ｌ）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

Ｌ：片面フレア溶接の場合　10d
　　両面フレア溶接の場合　5d
Ｌａ及びＬｂ＝１Ｓ（鉄筋については1d）以上
　ｄ：異形鉄筋の呼び名に用いた数値
　Ｓ：溶接のサイズ



3－4 エンドタブ

(1) エンドタブの材質は、母材と同等以上、形状は、母材と同厚・同開先のものとし、長さは、図3.11及び表3.4による。
ただし、あらかじめ溶接端部に欠陥が生じないことが確認された材質及び形状のものを用いる場合については、この限りではない。

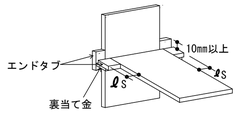


図３．４　エンドタブ

エンドタブの長さ（単位：mm）

溶接方法	ℓS
手　溶　接	３５　以上
半自動溶接	３８　以上
自動溶接	７０　以上

3－5 裏当て金及び裏はつり

(1) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は、原則としてフランジの内側に設置し、取付け方法は、図3.12による。
裏当て金の組立溶接は、接合部に悪影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行う。

(2) 裏当て金の厚さ及び隅肉溶接のサイズは、表3.5及び表3.6により、材質は、原則として母材と同等以上のものとする。

(3) 完全溶込み溶接を両面溶接とする場合は、裏溶接の前に裏はつりを行う。
裏はつりは、健全な溶着部分が現われるまではつり取るものとする。
ただし、自動溶接において、完全な溶込みが得られたことが確認できる場合には、裏はつりを省略することができる。

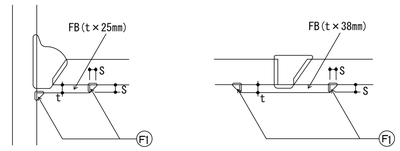


図３．５　裏当て金の溶接

裏当て金の長さ　（単位：mm）

溶接方法	t
手　溶　接	６以上
半自動溶接	９以上
自動溶接	１２　以上

溶接のサイズ　（単位：mm）

裏当て金の厚さ	S
t ≦９	5
t ＞９	9

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

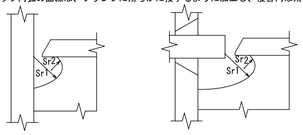
設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・　2・	高　橋	高　橋	高　橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A ―― 95
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高　橋	担当 高　橋	承認年月日 ・　・	図面名称 鉄骨標準図(1)	縮尺 No Scale

3－6　スカラップ

改良型スカラップ

（1）スカラップ半径Sr は35㎜とする。Sr は10㎜とする。

（2）スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



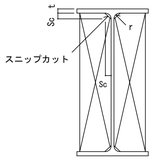
従来型スカラップ

（1）スカラップ半径Srは35㎜とする。



（e）スニップカット

（1）スニップカット部は溶接により埋めるものとする。



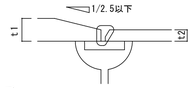
スニップカットの寸法

（i）ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r+2により求めるものとする。

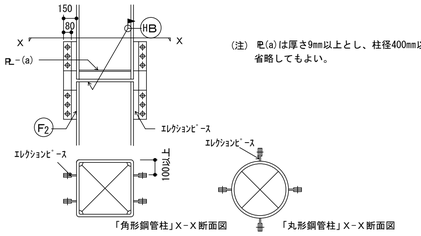
t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

（f）溶接部分の段差

（1）完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10㎜を超える場合



3－7 鋼管柱の継手



(注)　RL-(a)は厚さ9㎜以上とし、柱径400㎜以下の場合は省略してもよい。

図3．6　鋼管柱の継手（単位：㎜）

3－8 余　盛　り

(突合わせ継手、かど継手)、隅肉溶接及びフレア溶接の溶接部は、余盛りを行うものとする。
余盛り高さの限度は、下表による。

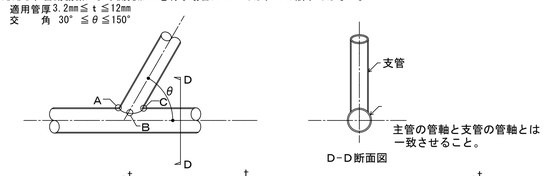
(突合わせ継手（Ｔ形継手）の溶接部は、ビード表面が滑らかになるように仕上げるものとする。

余盛り高さの限度　（単位㎜）

溶接継手	溶接方法	余盛り高さの限度
突合わせ継手 かど継手	手溶接 半自動溶接 自動溶接	3 4 4
隅肉溶接 フレア溶接	手溶接 半自動溶接	3

3－9　鋼管分岐継手

（鋼管分岐継手における支管は、主管外径より細径のものとし、開先標準は、鉄骨標準図（1）による。
ただし、自動機械により開先加工を行う場合については、この限りではない。
適用管厚 3.2㎜≦ t ≦12㎜
交　　角 30°≦θ≦150°



主管の管軸と支管の管軸とは一致させること。

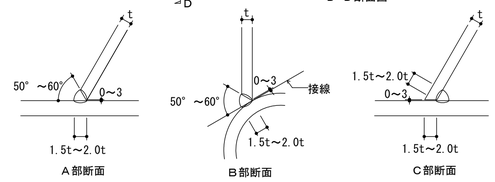


図3．7　鋼管分岐継手詳細（単位：㎜）

3－10 スタッド溶接

(1)スタッド溶接は、アークスタッド溶接方式による直接溶接とし、溶接姿勢は下向きを原則とする。

(2)スタッド溶接用材料は、JIS B1198「頭付スタッド」の規格に適合するものとし、適用する呼び名は、13、16、19及び22の４種類とする。

(3) スタッド溶接は、デッキプレート上から行ってはならない。
ただし、デッキプレート厚1.6㎜以下で、あらかじめ良好な溶接が得られることが確認された場合については、この限りではない。

(4) スタッドの間隔、ゲージ等の寸法は、表3.8及び図3.8による。

表3.8　スタッドの間隔、ゲージ等の寸法

項目	寸法
間隔　（p）	呼び名の7.5倍以上かつ600㎜以下
最小ゲージ　（g）	呼び名の５倍以上
へりあき　（e）	４０㎜以上

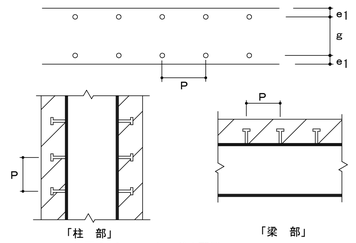


図3．8　スタッドの配置

4　高力ボルト接合等

4－1 高力ボルト

(1) 高力ボルトの種類は、JIS B 1186「摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット」（２種F10T）の規格に適合するもの
建築基準法に基づき認定されたトルシア形高力ボルト（２種S10T）及び溶融亜鉛めっき高力ボルト（1種F8Ｔ相当）とする。

(2) スプライスプレートの鋼材種別はSN-Bとし、引張強さによる区分は、母材と同等とする。

(3) フィラープレートの鋼材種別はSS400とする。

4－2 普通ボルト

(1) 普通ボルトのボルト及びナットは、表4.1により、ねじは、JIS B 0205「一般用メートルねじ」による。

(2) 座金は、JIS B 1256「平座金」による並形一部品等級Ａとする。

(3) もや、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。

表4．1　ボルト及びナットの材料

	ボルト	ナット
規格番号、規格名称	JIS B 1180（六角ボルト）	JIS B 1181（六角ナット）
種類	並形六角ボルト	並形六角ナット
材料区分	鋼製	鋼製
強度区分	４．６	４Ｔ
ねじの種類の規格	JIS B 0205-4（一般用メートルねじ－第４部：基準寸法）による。	
ねじの公差域クラスの規格	JIS B 0209-1（一般用メートルねじ－公差－第１部：原則及び基礎データ）による６ｇ	JIS B 0209-1による６Ｈ
仕上げの程度	中	中

4－3ボルトの表示記号

表4．2　ボルトの表示記号

ボルトの種類 ＼ ねじの呼び		M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト	(F10T、S10T)	○	◇	⊕	※	※
溶融亜鉛めっき高力ボルト	(F8T相当)	✕	|	┼	✕	✳
普通ボルト		○	◇	⊕	※	※

4－4 ボルト孔の径

表4．3ボルト孔の径　（単位：㎜）

ボルトの種類 ＼ ねじの呼び		M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト	(F10T、S10T)	14	18	22	24	26
溶融亜鉛めっき高力ボルト	(F8T相当) ※1	✕	17.5	22.0	24.0	26.0
普通ボルト	※2	12.5	16.5	20.5	22.5	24.5

※１ 国土交通大臣認定条件による。
※２ 母屋、胴縁類の取付用ボルトの場合は、ボルトの径＋１．０㎜とすることができる。

4－5 高力ボルトの長さ

(1)高力ボルトの長さは、締付け長さに表4.4の値を加えたものを標準長さとする。

表4．4 高力ボルトの締付け長さに加える長さ　（単位：㎜）

ボルトの種類 ＼ ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
トルシア形高力ボルト	✕	25	30	35	40
JIS形高力ボルト及び溶融亜鉛めっき高力ボルト	25	30	35	40	45

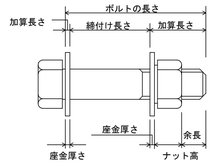


図4．1　JIS形高力ボルトのセット

4－6 縁端距離及びボルト間隔

(1) 縁端距離及びボルト間隔は、原則として表4.5による。
ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に３本以上並ばない場合の縁端距離は、ボルト軸径の２．５倍以上とする。ただし、アンカーボルトの縁端距離は図示による。

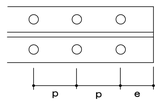


図4．2

表4．5 縁端距離及びボルト間隔　（単位㎜）

ねじの呼び	縁端距離（e）	ボルト間隔（p）
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70

4－7千鳥打ちのゲージ及び間隔

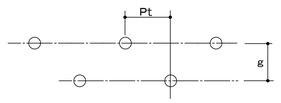


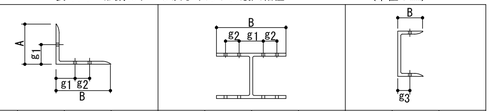
図4．3

表4．6　千鳥打ちのゲージ及び間隔　（単位㎜）

ゲージ（g）	千鳥打ちの間隔　（Pt） ねじの呼び M12、M16、M20、M22	 M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	―	40

4－8 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

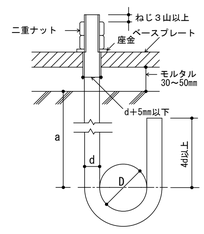
表4．7　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位：㎜）



A又はB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40※1	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24	※１：千鳥打ちとした場合						
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

5　柱　　脚

5－1アンカーボルト



(1)アンカーボルトは二重ナット及び座金を用い、その先端は、ねじがナットの外に３山以上出るようにする。
ただし、コンクリートに埋め込まれる場合は、二重ナットとしないことができる。

(2)アンカーボルトにせん断力を負担させる場合は、座金厚さの検討を行い、座金とベースプレートを全周溶接する。

(3) 柱底均しモルタルの厚さは、特記による。

(4) コンクリートの表面は、レイタンス等を取り除いたのち、目荒しを行う。

(5)アンカーボルト孔の径を当該アンカーボルトの径に５㎜を加えた数値以下の数値とする。

(6) 折曲げ内法直径Ｄは、鉄筋D16以下の場合は３ｄ以上とし、鉄筋D19以上の場合は４ｄ以上とする。

(7) アンカーボルト末端フックは、鉄筋D16以上の場合は180°とし、鉄筋D13以下の場合は135°とする。

(8) ａは定着長さとする。

図5．1 アンカーボルトの形状の例

6　鉄骨標準詳細図

6－1 柱・梁仕口部（Ｈ形柱）

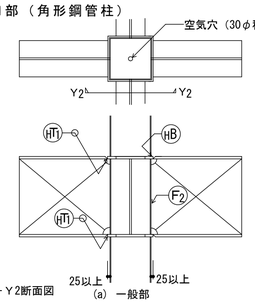
X2－X2断面図

(注) 1．F2※：ウェブ厚が16㎜以上のものについては、F2 とする。
2．F2※：P1 としてもよい。ただし、水平スチフナ厚が12㎜以下の場合は　F2とする。

(a) 一般部

図6．1 仕口部の溶接（Ｈ形柱）　（単位：㎜）

6－2 柱・梁仕口部（角形鋼管柱）

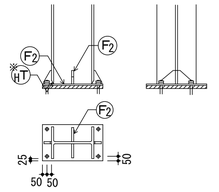


Y2－Y2断面図

(a) 一般部

図6．2 仕口部の溶接（角形鋼管柱）　（単位：㎜）

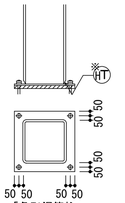
6－3 柱　　脚



「Ｈ形柱」

(注)埋込み型柱脚とする場合で、フランジ厚さが12㎜以下の場合は　F2、13㎜以上の場合はP1とすることができる。

図6．3 Ｈ形柱脚部（単位：㎜）

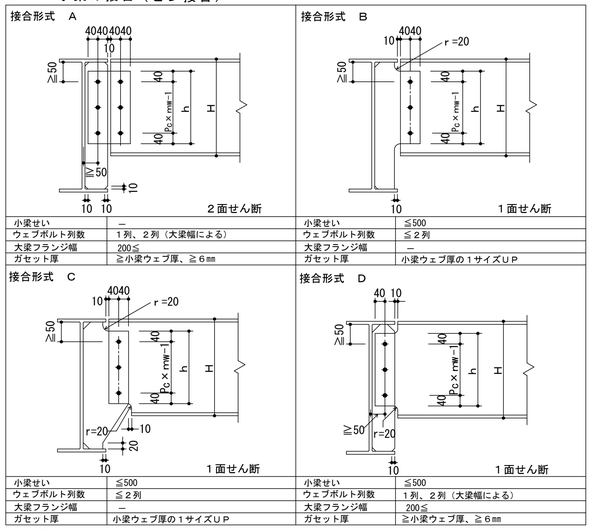


「角形鋼管柱」

(注) 柱板厚が６㎜以下の場合は　F1とすることができる。

図6．4 鋼管柱脚部（単位：㎜）

6－4 小梁の接合（ピン接合）

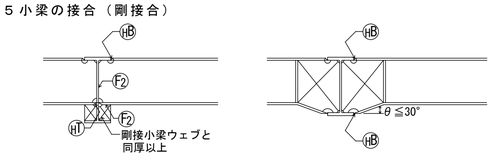


	A	B	C	D
小梁せい	―	≦500	≦500	≦500
ウェブボルト列数	１列、２列（大梁幅による）	≦２列	≦２列	１列、２列（大梁幅による）
大梁フランジ幅	200≦	―	―	200≦
ガセット厚	≧小梁ウェブ厚、≧６㎜	ガセット厚	ガセット厚	≧小梁ウェブ厚、≧６㎜

共通事項：１．大梁せい≧小梁せい
２．ガセット厚、添板厚（接合形式Ａ）≧６㎜
３．ウェブボルトの配置は、最小ボルト本数を２本、せい方向ピッチを60、90、120㎜の３種類とし、小梁のせい方向の中心振り分けとする。

図6．5 小梁の接合（ピン接合）(単位：㎜)

6－5 小梁の接合（剛接合）

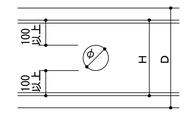


(a)直交する梁との段差が100㎜以上の場合　　(b)直交する梁との段差が100㎜未満の場合

図6．6 小梁の接合（剛接合）

6－6 梁貫通孔部補強

(1) 貫通孔の補強方法は、補強プレート法及び補強トラス法とし、貫通孔部分は、必要に応じて鋼管スリーブを取り付ける。）

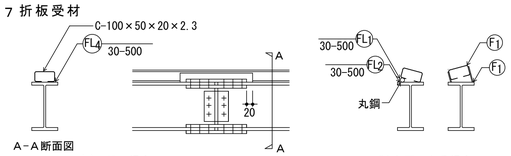


Ｈ：鉄骨せい
Ｄ：梁せい
φ：貫通孔内径寸法
（φ≦Ｈ/２かつφ≦Ｄ/３）

(注)梁端に貫通孔を設ける場合は、原則として、梁端から貫通孔の中心まで1.2Ｄ以上離し、梁継手位置等にも留意を要する。

図6．7 梁貫通孔の位置の限度（単位：㎜）

6－7 折板受材



(a)一般の場合　　(b) 勾配のある場合

図6．8 折板受材の取付け

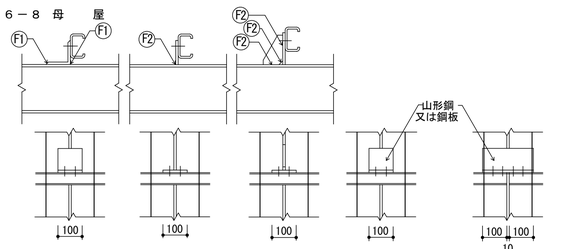
訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高橋	高橋	高橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体）工事	A ―― 96
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高橋	担当 高橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 鉄骨標準図(２)	縮尺 No Scale

6．鉄骨標準詳細図

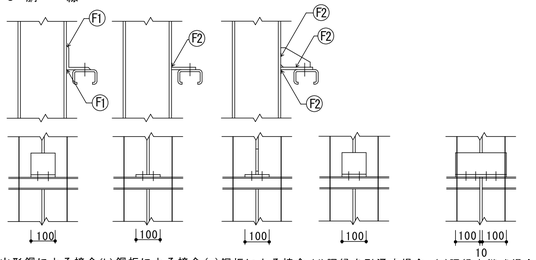
6－8 母　屋



(a)山形鋼による接合　(b) 鋼板による接合　(c)鋼板による接合（リブプレート付）　(d) 母屋を引通す場合　(e) 母屋を継ぐ場合

図６．９　母屋の接合（単位：mm）

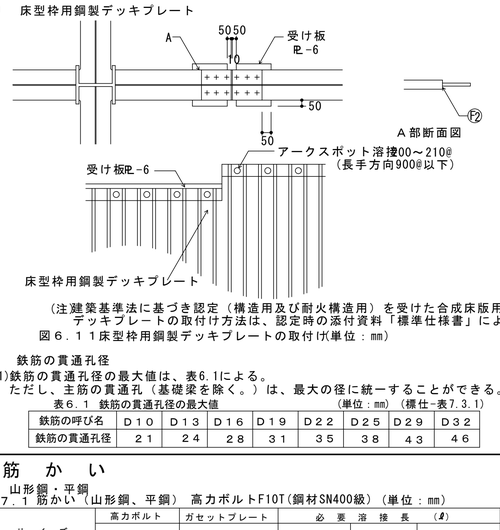
6－9 胴　縁



(a)山形鋼による接合(b)鋼板による接合(c)鋼板による接合（リブプレート付）(d)胴縁を引通す場合　(e)胴縁を継ぐ場合

図６．１０ 胴縁の接合（単位：mm）

6－10　床型枠用鋼製デッキプレート



（注建築基準法に基づき認定（構造用及び耐火構造用）を受けた合成床版用デッキプレートの取付け方法は、認定時の添付資料「標準仕様書」による。

図６．１１床型枠用鋼製デッキプレートの取付け(単位：mm)

6－11　鉄筋の貫通孔径

(1)鉄筋の貫通孔径の最大値は、表6.1による。
ただし、主筋の貫通孔（基礎梁を除く。）は、最大の径に統一することができる。

表６．１ 鉄筋の貫通孔径の最大値　（単位：mm）（様仕-表7.3.1）

鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋の貫通孔径	21	24	28	31	35	38	43	46

7．筋　かい

7－1　山形鋼・平鋼

表７．１ 筋かい（山形鋼、平鋼） 高力ボルトF10T(鋼材SN400級)（単位：mm）

サ イ ズ	高力ボルト 本数－径	ガセットプレート 厚×必要幅 g t×B	必要溶接長 TYPE①	TYPE②	TYPE③
L－65× 65× 6	5-M16	9× 90	170	101	117
L－75× 75× 6	5-M16	9× 95	202	117	133
L－75× 75× 9	5-M16	9×125	291	162	178
L－75× 75×12	5-M20	9×160	361	197	213
L－90× 90× 7	4-M20	9×120	267	150	166
L－90× 90×10	5-M20	9×165	389	211	227
L－90× 90×13	6-M20	12×160	395	218	238
L-100×100× 7	4-M20	9×135	303	168	184
L-100×100×10	5-M20	9×185	443	238	254
L-100×100×13	6-M20	12×180	438	239	259
2L－65× 65× 6	5×2-M16	9×160	339	186	202
2L－75× 75× 6	5×2-M16	9×185	404	218	234
2L－75× 75× 9	5×2-M16	9×250	581	307	323
2L－75× 75×12	5×2-M20	9×315	722	377	393
2L－90× 90× 7	4×2-M20	9×240	533	283	299
2L－90× 90×10	5×2-M20	9×330	777	405	421
2L－90× 90×13	6×2-M20	12×320	789	415	435
2L-100×100× 7	4×2-M20	9×270	605	319	335
2L-100×100×10	5×2-M20	9×370	885	459	475
2L-100×100×13	6×2-M20	12×355	875	458	478
FB－65× 6	2-M16	6× 65	117	71	83
FB－75× 6	2-M16	6× 75	142	83	95
FB－65× 9	3-M16	9× 65	131	82	98
FB－75× 9	3-M16	9× 75	159	96	112
FB－90× 9	3-M20	9× 90	190	111	127
FB-100× 9	3-M20	9×100	218	125	141
FB－90× 12	3-M20	12× 90	202	121	141
FB-100× 12	4-M20	12×100	232	136	156
FB－90× 16	4-M20	12×115	270	155	175
FB-100× 16	5-M20	12×130	309	175	195

7－2　ターンバックル筋かい等

表７．２　ターンバックル筋かい等　JISターンバックル筋かい　高力ボルトF10T(鋼材SN400級)
（JIS A5542 付表1a1b）（JIS A5541 付表1）　（単位：mm）

	サイズ ねじの呼び (d)		M10	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	M27	M30	M33
ターンバックル筋かい	高力ボルト	本数－径		1-M12	1-M16	1-M16	1-M20	1-M20	1-M22	2-M20	2-M20	2-M22	2-M22
	ガセットプレート	厚さ×幅(1) gt×B		6×60	6×60	9×70	9×70	9×80	12×80	12×90	12×90	12×100	12×110
	必要溶接長	TYPE ①		60	64	80	80	102	101	118	152	186	229
		TYPE ②		42	44	56	56	67	71	79	96	113	135
		TYPE ③		54	56	72	72	83	91	99	116	133	155
羽子板ボルトの形状及び寸法	軸径 d1	最大	8.99	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99	24.99	27.67	30.67
		最小	8.82	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	24.77	27.42	30.42
	調整ねじの長さ	S	75	100	115	125	140	150	165	175	200	200	225
	取付ボルト穴径 許容差 +0,-0.5mm	R	13	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5	21.5	23.5	23.5
	端あき(最小)	e1 (2)	30	35	40	45	50	50	55	50	50	55	55
	切板製	へりあき (2) (最小) e2	22	22	28	28	34	34	38	38	45	45	50
		板厚 t	3.2	4.5	6	6	9	9	9	9	9	12	12
	平鋼製	へりあき (2) (最小) e2	19	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5	45	45	50
		板厚 t	4.5	4.5	6	6	9	9	9	9	9	12	12
	ボルト端から取付ボルト穴心のあき (最小) e3		40	47	52	59	66	66	73	70	72	83	90
	溶接長さ (最小) ℓ		35	40	50	55	60	75	85	85	90	95	110
ターンバックル胴	割枠式	L (mm)	150	200	230	250	280	300	330	350	400	400	450
	パイプ式	A (mm)	14 以上	17 以上	20 以上	23 以上	25 以上	28 以上	31 以上	34 以上	38 以上	42 以上	46 以上
	割枠式	質量(3)(kg)	0.153 以上	0.300 以上	0.480 以上	0.640 以上	0.900 以上	1.20 以上	1.54 以上	2.09 以上	3.01 以上	3.66 以上	4.94 以上

注(1) gt：ガセットプレートの板厚　(cm)
B：ガセットプレートの有効幅　(cm)
(2) e1,e2 が確保されていれば形状は自由でよい。
(3) パイプ式には、質量規定なし。

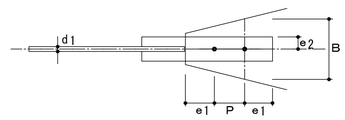


図７．1ガセットプレート

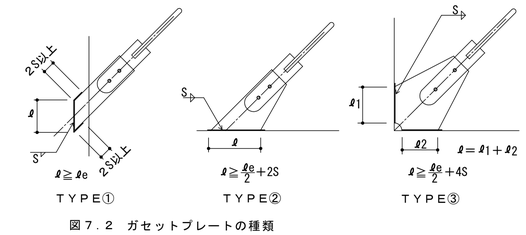


図７．２　ガセットプレートの種類

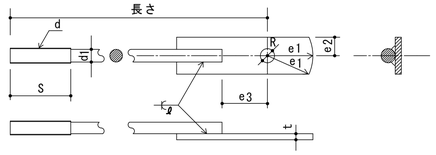


図７．３ 羽子板ボルト（M10～M22)(JIS A5542 付表1a)

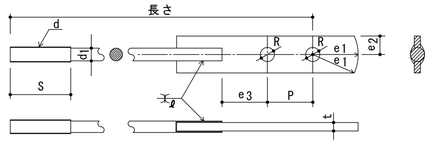
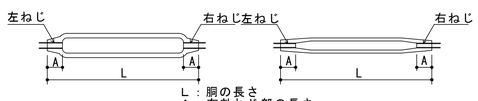


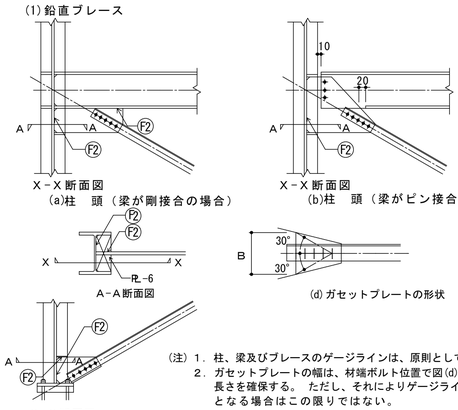
図７．４　羽子板ボルト（M24～M33)(JIS A5542 付表1b)



L：胴の長さ
A：有効ねじ部の長さ
「割　枠　式」　「パイプ式」

図７．５　ターンバックル胴（JIS A5541 付表1）

7－3　各部詳細



(注) 1．柱、梁及びブレースのゲージラインは、原則として一致させる。
2．ガセットプレートの幅は、材端ボルト位置で図(d)に示すBの長さを確保する。ただし、それによりゲージラインが不一致となる場合はこの限りではない。

図７．６ 鉛直ブレース（山形鋼）（単位：mm）

8．柱・梁継手標準

8－1　柱・梁継手一覧

表８．１　柱継手一覧表 SN400級（F10T・S10T）

断面寸法	径 D	フランジ ボルト nF×mF	フランジ ゲージ g1	フランジ ゲージ g2	フランジ 外添板 厚×長さ	フランジ 内添板 厚×幅	ウェブ ボルト mW×nW	ウェブ Pc	ウェブ 添板寸法 厚×幅×長さ	継手性能 曲げモーメント My	曲げモーメント dZ	継手性能 せん断力 Qy	せん断力 dAw	継手性能 軸力 Ny	軸力 dA	曲げモーメント(弱軸) My	曲げモーメント(弱軸) dZ	保有耐力接合 Mu	保有耐力接合 αJ	保有耐力接合 Lq
										N-m x10³	cm³	N x10³	cm²	N x10³	cm²	N-m x10³	cm³	N-m		m
H-194x150x6 x 9	M16	2x2	90	–	9 x290	9 x60	2x1	※60	6x140x350	49.7	211	114	8.400	694	29.47	12.2	51.9	94.3	1.3	0.95
H-250x125x6 x 9	M16	3x2	75	–	12x410	–	2x2	90	9x170x290	56.0	238	159	11.76	666	28.33	7.96	33.8	108	1.2	0.80
H-244x175x7 x11	M16	3x2	105	–	9 x410	9 x70	2x2	90	9x170x290	94.7	402	177	13.02	1060	45.05	21.2	90.1	180	1.3	1.12
H-300x150x6.5x 9	M16	2x2	90	–	9x290	9x 60	3x2	60	6x200x290	90.3	383	201	14.82	865	36.79	12.2	52.0	174	1.3	0.97
H-350x175x7 x11	M16	3x2	105	–	9 x410	9 x 70	3x2	90	6x260x290	148	630	260	19.18	1200	51.21	21.2	90.1	284	1.3	1.19
H-150x150x 7x10	M20	2x2	90	–	9 x290	9 x 60	1x2	60	9x 80x290	37.3	159	102	7.560	690	29.31	12.5	53.1	72.9	1.2	0.85
H-175x175x7.5x11	M20	2x2	105	–	9 x290	9x 70	1x2	60	9x 80x290	60.3	256	133	9.825	944	40.10	19.8	84.4	116	1.3	0.99
H-194x150x 6x 9	M20	2x2	90	–	9 x290	9 x 60	2x1	※60	6x140x230	46.6	198	107	7.920	648	27.55	11.2	47.8	88.4	1.2	1.01
H-200x200x 8x12	M20	2x2	120	–	9 x290	9 x 80	2x1	※60	6x140x230	88.2	375	143	10.56	1160	49.45	29.4	125	152	1.2	1.32
H-244x175x x11	M20	2x2	105	–	9 x290	9 x70	2x2	60	9x140x290	90.5	385	169	12.46	1000	42.73	19.8	84.4	172	1.3	1.17
H-250x250x 9x14	M20	4x2	150	–	12x530	12x100	2x2	60	9x140x290	170	722	217	16.02	1770	75.15	56.7	241	325	1.4	1.57
H-300x150x6.5x 9	M20	2x2	90	–	9 x290	9 x60	3x1	60	6x200x170	85.2	362	190	14.04	813	34.57	11.3	47.9	164	1.2	1.02
H-294x200x8 x12	M20	3x2	120	–	9 x410	9 x80	3x1	60	9x200x170	144	613	222	16.32	1290	55.21	29.4	125	279	1.4	1.36
H-300x300x10x15	M20	4x2	150	40	9 x440	12x110	2x2	120	9x200x290	258	1100	307	22.60	2260	95.90	77.2	328	492	1.4	1.74
H-350x175x7 x11	M20	2x2	105	–	9 x290	9 x70	4x1	60	6x260x170	140	596	228	16.80	1100	47.07	19.8	84.4	266	1.3	1.36
H-340x250x 9x14	M20	4x2	150	–	12x530	12x100	3x2	60	12x200x290	248	1060	300	22.14	1910	81.27	56.7	241	475	1.4	1.65
H-350x350x12x19	M20	3x4	140	70	12x410	12x140	3x2	60	12x200x290	410	1740	401	29.52	3070	130.5	132	563	771	1.3	2.25
H-400x200x 8x13	M20	3x2	120	–	9x410	9x 80	3x2	90	9x260x290	222	944	335	24.64	1560	66.65	31.9	136	426	1.3	1.41
H-390x300x10x16	M20	4x2	150	40	12x440	12x110	3x2	90	9x260x290	375	1590	396	29.20	2520	107.3	82.3	350	715	1.4	1.94
H-400x400x13x21	M20	4x4	140	90	12x410	16x170	4x2	60	12x260x290	621	2640	477	35.10	4000	170.3	190	812	1170	1.3	2.76
H-414x405x18x28	M20	4x4	140	90	16x530	16x170	4x3	60	16x260x410	838	3560	660	48.60	5420	230.3	254	1080	1550	1.3	2.73
H-428x407x20x35	M20	5x4	140	90	19x650	22x170	4x3	60	16x260x410	1040	4460	734	54.00	6620	281.5	318	1350	1960	1.3	3.09
H-450x200x 9x14	M20	3x2	120	–	12x410	12x 80	5x1	60	9x380x170	283	1200	382	28.08	1720	73.21	34.4	146	556	1.4	1.56
H-440x300x11x18	M20	4x2	150	40	12x440	12x110	5x2	60	12x320x290	482	2050	439	32.34	2830	120.0	92.6	394	924	1.4	2.25
H-500x200x10x16	M20	3x2	120	–	12x410	12x 80	6x1	60	9x380x170	363	1540	456	33.60	1990	84.97	39.3	167	719	1.4	1.68
H-488x300x11x18	M20	4x2	150	40	12x440	12x110	6x1	60	9x380x170	547	2330	478	35.20	2880	122.9	92.7	394	1000	1.3	2.35
H-600x200x11x17	M20	3x2	120	–	12x410	12x 80	5x2	90	9x440x290	478	2030	682	50.16	2460	104.7	41.9	178	940	1.3	1.53
H-588x300x12x20	M22	4x2	150	40	12x440	16x110	7x1	60	9x440x170	745	3160	619	45.60	3310	140.7	99.1	421	1330	1.3	2.57
H-700x300x13x24	M22	5x2	150	40	19x530	19x110	9x1	60	9x560x170	1080	4610	770	56.68	4040	171.8	119	506	2120	1.4	2.95
H-800x300x14x26	M22	5x2	150	40	19x530	19x110	9x2	90	12x530x290	1370	5870	1150	84.56	4910	209.0	129	548	2660	1.3	2.53
H-890x299x15x23	M22	5x2	150	40	19x530	19x110	8x2	90	12x710x290	1480	6330	1220	97.80	4890	207.8	113	480	2980	1.4	2.56
H-900x300x16x28	M22	6x2	150	40	19x620	22x110	8x2	90	12x710x290	1750	7430	1410	104.3	5600	238.1	138	591	3480	1.4	2.61
H-912x302x18x34	M22	7x2	150	40	25x710	25x110	10x2	60	16x620x290	2080	8870	1470	108.7	6400	272.0	173	734	4170	1.4	3.00
H-918x303x19x37	M22	7x2	150	40	25x710	28x110	10x2	60	16x620x290	2260	9600	1560	114.8	6900	292.9	189	808	4370	1.3	3.08

8－2　梁継手の諸元一覧

断面寸法母材断面の寸法
径　D　フランジ及びウェブに使用する高力ボルトの呼び径

表８．２ 梁継手一覧表　SN400級（F10T・S10T）

断面寸法	径 D	フランジ ボルト nF×mF	フランジ ゲージ g1	フランジ ゲージ g2	フランジ 外添板 厚×長さ	フランジ 内添板 厚×幅	ウェブ ボルト mW×nW	ウェブ Pc	ウェブ 添板寸法 厚×幅×長さ	継手性能 曲げモーメント My	曲げモーメント dZ	継手性能 せん断力 Qy	せん断力 dAw	保有耐力接合 Mu	保有耐力接合 αJ	保有耐力接合 Lq
										N-m x10³	cm³	N x10³	cm²	N-m x10³		m
H-194x150x6 x 9	M16	2x 2	90	–	9 x290	9 x60	2x1	※60	6x140x230	49.7	211	114	8.400	94.2	1.3	0.95
H-250x125x6 x 9	M16	3x 2	75	–	12x410	–	2x2	90	6x170x290	56.0	238	159	11.76	108	1.2	0.80
H-244x175x7 x11	M16	3x 2	105	–	9 x410	9 x70	2x2	90	6x170x290	94.7	402	177	13.02	180	1.3	1.12
H-300x150x6.5x 9	M16	2x 2	90	–	9x290	9x 60	3x1	60	6x200x170	90.3	383	201	14.82	174	1.3	0.97
H-350x175x7 x11	M16	3x 2	105	–	9 x410	9 x 70	4x1	60	6x260x170	150	641	243	17.92	293	1.4	1.28
H-194x150x 6x 9	M20	2x 2	90	–	9 x290	9 x 60	2x1	※60	6x140x230	46.6	198	107	7.920	88.3	1.2	1.01
H-244x175x7 x11	M20	2x 2	105	–	9 x290	9 x70	2x1	60	9x140x170	90.5	385	169	12.46	172	1.3	1.17
H-250x125x6.5x 9	M20	2x 2	90	–	9 x290	9 x60	2x1	120	6x200x170	85.2	362	210	15.47	164	1.2	0.92
H-294x200x8 x12	M20	3x 2	120	–	9 x410	9 x80	2x1	120	9x200x170	144	613	222	16.32	279	1.4	1.36
H-350x175x7 x11	M20	2x 2	105	–	9 x290	9 x70	3x1	90	6x260x170	140	598	249	18.34	260	1.2	1.25
H-340x250x 9x14	M20	4x 2	150	–	12x530	12x100	3x2	60	9x200x290	248	1060	300	22.14	475	1.4	1.65
H-400x200x 8x13	M20	3x 2	120	–	9x410	9x 80	4x1	60	9x260x170	226	959	311	22.88	411	1.3	1.52
H-390x300x10x16	M20	4x 2	150	40	12x440	12x110	4x1	60	9x260x170	375	1590	367	27.00	715	1.4	2.10
H-450x200x 9x14	M20	3x 2	120	–	12x410	12x 80	5x1	60	9x320x170	283	1200	382	28.08	556	1.4	1.56
H-440x300x11x18	M20	4x 2	150	40	12x440	12x110	5x1	60	9x320x170	482	2050	439	32.34	876	1.3	2.25
H-500x200x10x16	M20	3x 2	120	–	12x410	12x 80	5x1	60	9x320x170	363	1540	487	35.80	693	1.3	1.57
H-488x300x11x18	M20	4x 2	150	40	12x440	12x110	4x2	90	12x350x290	547	2330	543	40.04	1030	1.4	2.07
H-600x200x11x17	M20	3x 2	120	–	12x410	12x 80	4x2	120	9x440x290	479	2040	714	52.58	935	1.3	1.46
H-588x300x12x20	M20	5x 2	150	40	12x530	16x110	4x2	120	9x440x290	759	3230	749	55.20	1420	1.3	2.08
H-700x300x13x24	M20	6x 2	150	40	19x620	19x110	9x1	60	9x560x170	1100	4690	801	59.02	2150	1.4	2.84
H-500x200x10x16	M22	3x 2	120	–	12x410	12x 80	4x1	90	9x350x170	356	1510	505	37.20	674	1.3	1.51
H-488x300x11x18	M22	4x 2	150	40	12x440	12x110	5x1	60	12x320x170	538	2280	496	36.52	944	1.2	2.27
H-600x200x11x17	M22	3x 2	120	–	12x410	12x 80	7x1	60	9x440x170	484	2060	594	43.78	870	1.2	1.75
H-588x300x12x20	M22	4x 2	150	40	12x440	16x110	7x1	60	9x440x170	745	3160	619	45.60	1330	1.3	2.52
H-700x300x13x24	M22	5x 2	150	40	19x530	19x110	9x1	60	9x560x170	1080	4610	770	56.68	2120	1.4	2.95
H-800x300x14x26	M22	5x 2	150	40	19x530	19x110	10x1	60	12x620x170	1370	5870	966	71.12	2630	1.3	3.01
H-890x299x15x23	M22	5x 2	150	40	16x530	19x110	12x1	60	12x740x170	1480	6330	1130	83.40	2840	1.3	2.77
H-900x300x16x28	M22	6x 2	150	40	19x620	22x110	12x1	60	12x740x170	1750	7430	1210	88.96	3300	1.3	3.05
H-912x302x18x34	M22	7x 2	150	40	25x710	25x110	10x2	60	16x620x290	2080	8870	1470	108.7	4170	1.4	3.00
H-918x303x19x37	M22	7x 2	150	40	25x710	28x110	10x2	60	16x620x290	2260	9600	1560	114.8	4370	1.3	3.08

フランジについて

nF×mF：フランジのボルト配列でnFは材軸方向のボルト行数を、Fm はフランジ幅方向のボルト数（千鳥配置の場合には、mF＝２で表示）を表す。
g1、g2：フランジボルトのゲージ寸法
外添板　：板厚と長さを表示、板幅は、フランジの呼称幅
内添板　：板厚と板幅を表示、長さは、外添板の長さと同じ

ウェブについて

mW×nW：ウェブのボルト配列でmWは梁せい方向のボルト数を、Wn は材軸方向の列数を表す。
Pc　：梁せい方向のボルトピッチ、数値の頭に※が付いている場合には、ウェブの材軸方向のボルト並びをフランジのボルト並びに対して半ピッチ(30mm)外側にずらすことを表している。
添板寸法：　ウェブの添板寸法。幅は梁せい方向の寸法、長さは材軸方向の寸法を表す。

設計用継手性能について

My、Zd：設計用短期許容曲げモーメント（有効３桁）及び設計用断面係数（有効３桁）
Qy、dAw：設計用短期許容せん断力（有効３桁）及び設計用せん断断面積（有効４桁）
Mu　：継手の最大曲げ強さ（有効３桁）
αJ　：Mu を梁母材の全塑性モーメントで除した値。（小数１桁目に切り捨て）※は、α値（付表2.1）を満たさなかったことを表す。（小数２桁目に丸めた値で表示する）
Lq　：せん断に対するα値（付表2.1）を満たす最小スパン長（小数２桁目に切り上げ）

8－3　継手部高力ボルト配置図

(1)フランジ高力ボルト配置

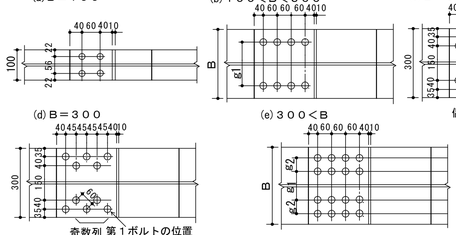
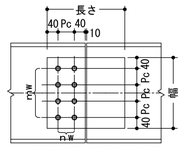


図８．１　フランジ高力ボルト配置パターン図　（単位：mm）

(2) ウェブの高力ボルト配置



(注)　ボルト本数の偶数奇数によらず、ウェブ心から上下均等に振分けとする。

図８．２　ウェブの高力ボルト配置パターン例図　（単位：mm）

(3) ウェブとフランジのボルト配置

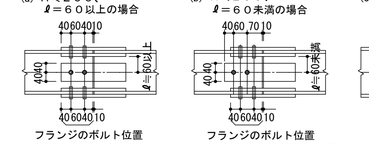
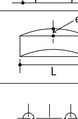
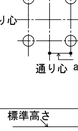
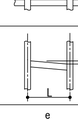
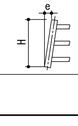
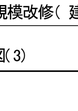


図８．３ ウェブとフランジのボルト配置関係（単位：mm）

9．鉄骨工事の精度

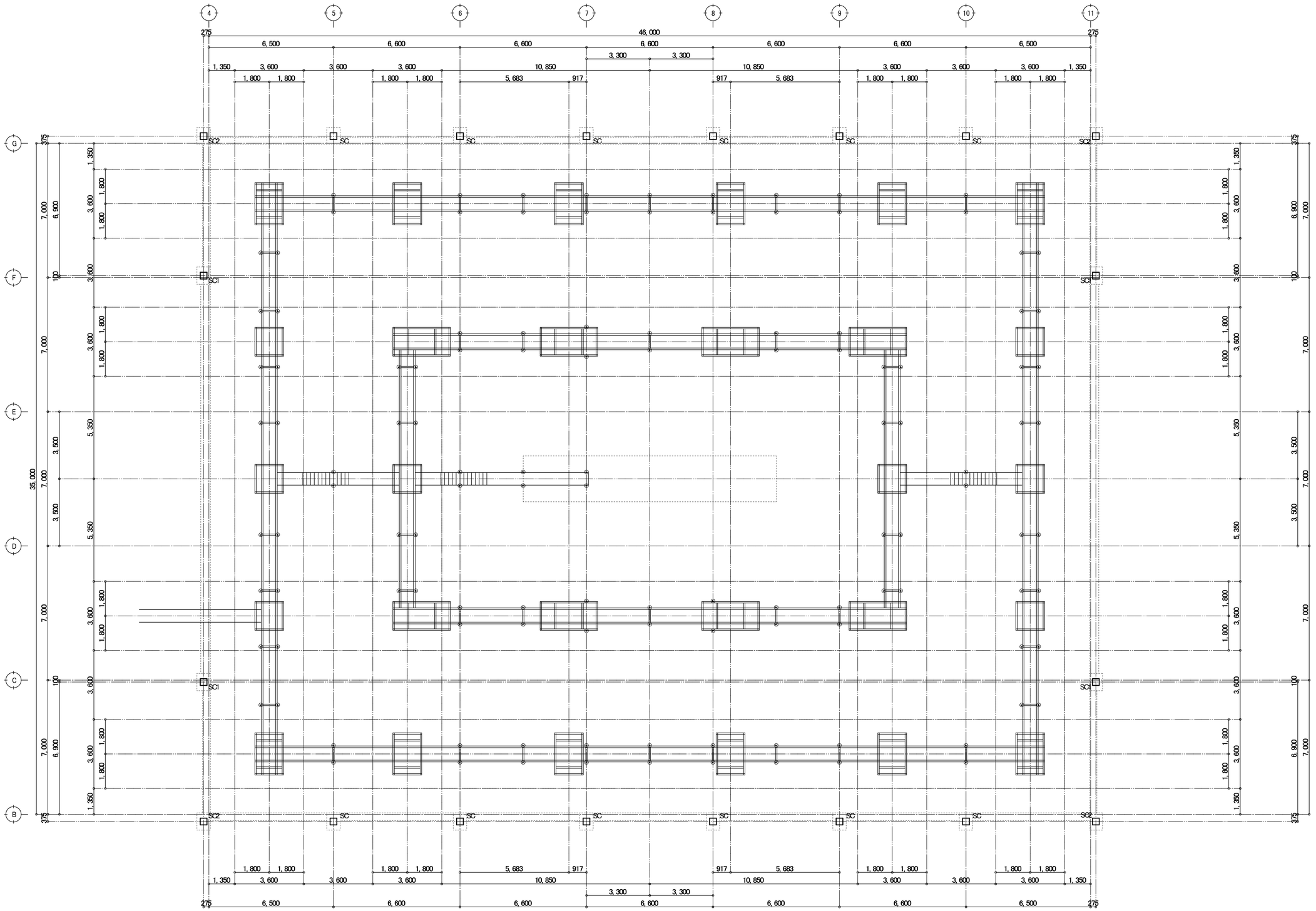
表９．１　精度の基準

名称	図	管理許容差	限界許容差
(1) 建物の倒れ (e)		e≦ H/4,000 ＋7mm かつ e≦30mm	e≦ H/2,500 ＋10mm かつ e≦50mm
(2)建物のわん曲 (e)		e≦ L/4,000 かつ e≦20mm	e≦ L/2,500 かつ e≦25mm
(3)通り心とアンカーボルトの位置のずれ (e)		構造用アンカーボルト：−3mm≦e≦＋3mm	−5mm≦e≦＋5mm
		建方用アンカーボルト：−5mm≦e≦＋5mm	−8mm≦e≦＋8mm
(4) 柱すえ付け面の高さ (ΔH)		−3mm≦ΔH≦＋3mm	−5mm≦ΔH≦＋5mm
(5)工事現場継手階の階高 (ΔH)		−5mm≦ΔH≦＋5mm	−8mm≦ΔH≦＋8mm
(6) 梁の水平度 (e)		e≦ L/1,000 ＋3mm かつ e≦10mm	e≦ L/700 ＋5mm かつ e≦15mm
(7) 柱の倒れ (e)		e≦ H/1,000 かつ e≦10mm	e≦ H/700 かつ e≦15mm

訂正	月	日	

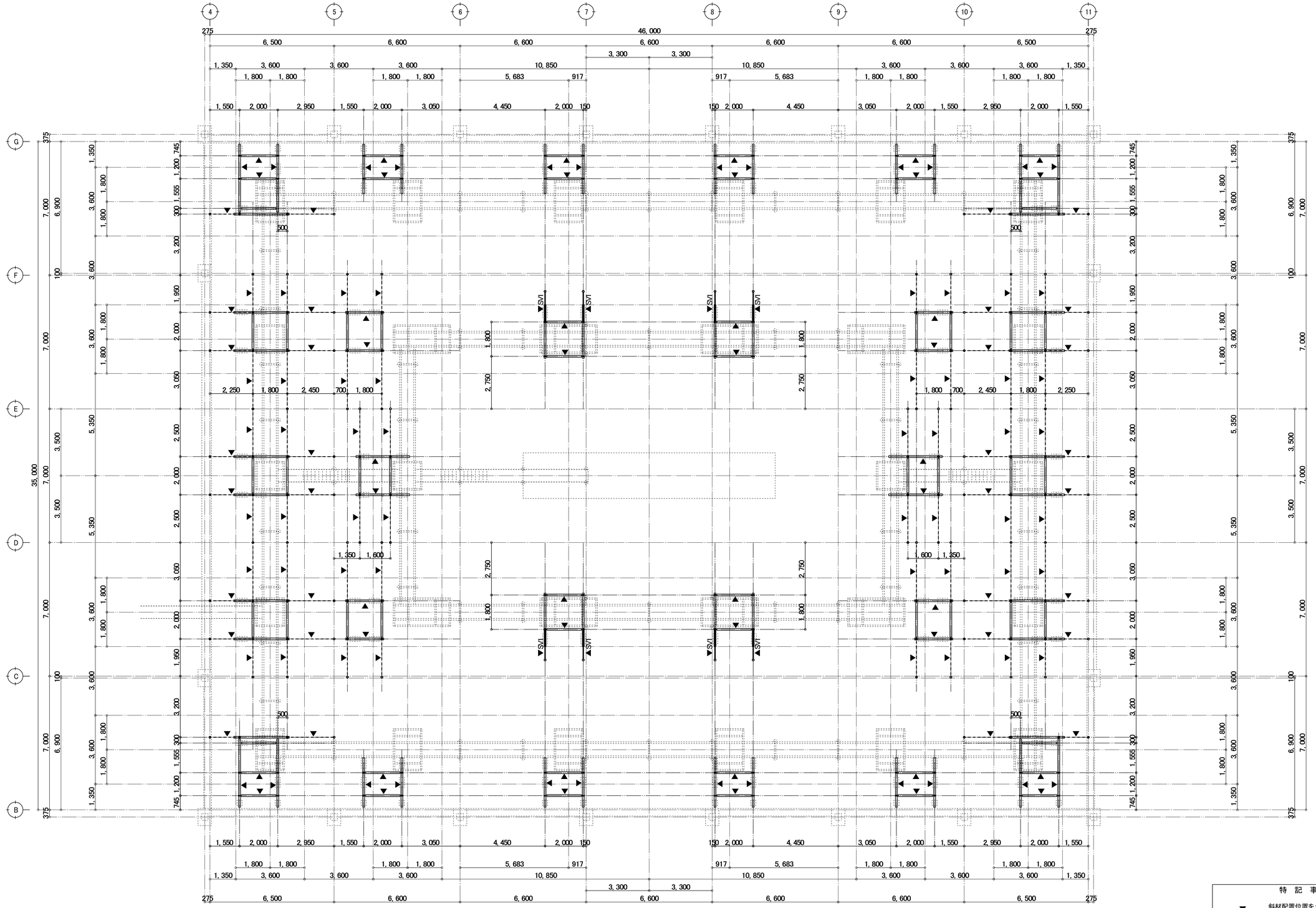
SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE
一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お(2808) 1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修(建築主体) 工事	A —— 97
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5233号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 鉄骨標準図(3)	縮尺 No Scale



キャット ウォーク伏図　1: 100

訂正	月　日		SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE	一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号 TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221	設計年月日 R6・　2・	設計 高 橋	検図 高 橋	承認印 高 橋	工事名称 盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	図面番号
					一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 髙橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・　・	図面名称　既存 アリーナ部　キャット ウォーク伏図	縮尺 A1 1: 100 A3 1: 200	A —— 98



キャット ウォーク伏図　1: 100

特記事項

▼ 斜材配置位置を示す
特記なき限り 斜材は SM12 とする

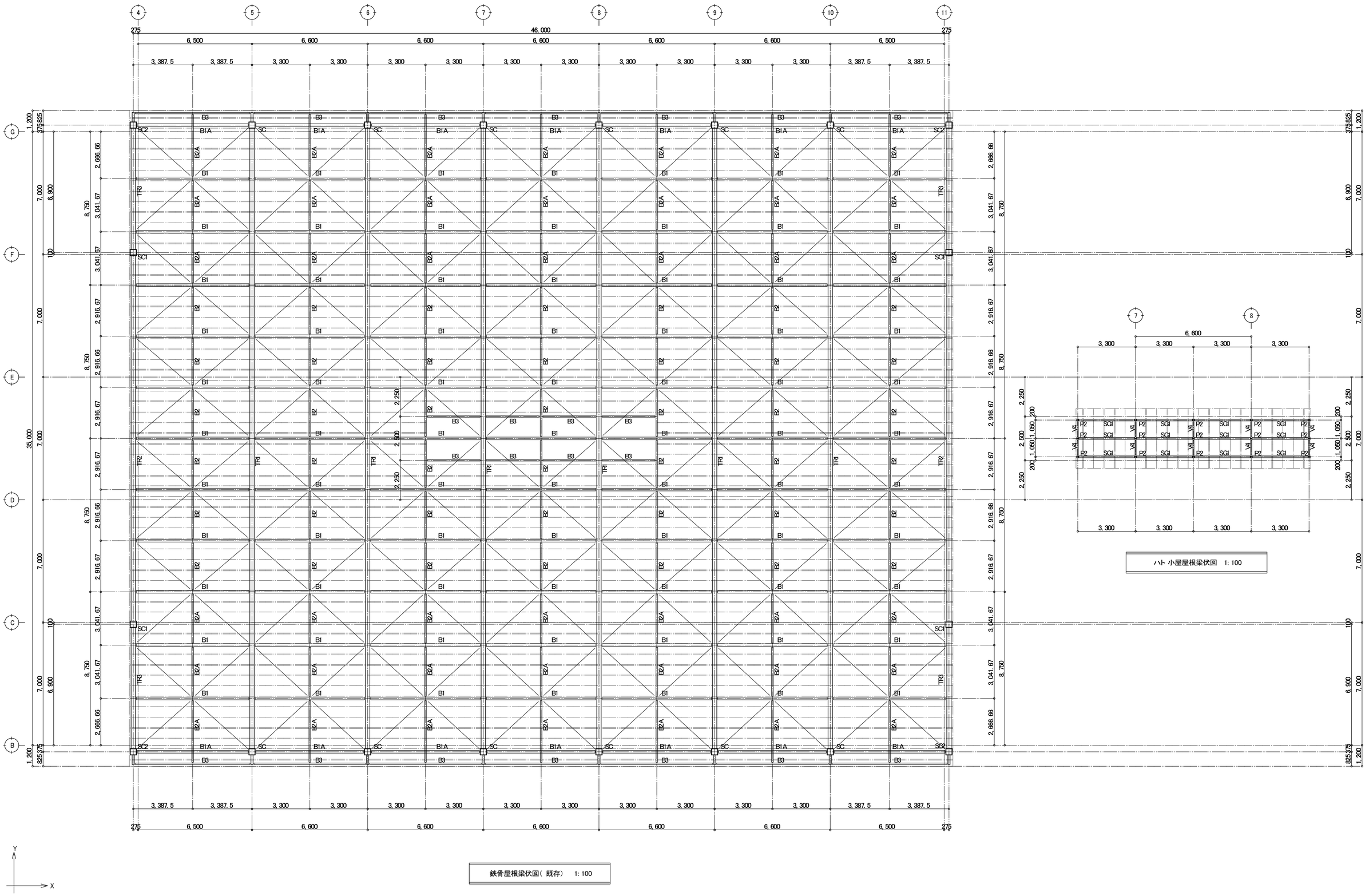
照明受材を示す
特記なき限り 受材は SB2 とする

訂正	月	日	

SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE

一級建築士事務所　岩手県知事登録　第お（ 2808）1316号
有限会社 佐々木章設計事務所
〒020-0061　岩手県盛岡市北山二丁目2番58号
TEL 019-661-8222　FAX 019-661-8221

設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
R6・ 2・	高 橋	高 橋	高 橋	盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事	A —— 99
一級建築士　登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋　雅人	製図 高 橋	担当 高 橋	承認年月日 ・ ・	図面名称 改修 アリーナ部　キャット ウォーク伏図	縮尺 A1 1: 100 A3 1: 200



鉄骨屋根梁伏図（ 既存） 1: 100

ハト 小屋屋根梁伏図 1: 100

訂正	月	日									
			SASAKI AKI RA ARCHI TECT OFFI CE	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第お（ 2808） 1316号 有限会社 佐々木章設計事務所 〒020-0061 岩手県盛岡市北山二丁目2番58号 TEL 019-661-8222 FAX 019-661-8221	設計年月日 R6・ 2・ 一級建築士 登録第296025号 構造設計一級建築士第5273号 高橋 雅人	設計 高 橋	検図 高 橋 担当 高 橋	承認印 高 橋 承認年月日 ・ ・	工事名称 盛岡体育館大規模改修（ 建築主体） 工事 図面名称 既存 アリーナ部 鉄骨屋根梁伏図	縮尺 A1 1: 100 A3 1: 200	図面番号 A —— 100